

人づくり

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進		
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。				
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)	
	地域社会(職場を含む)において、男女の地位は平等と感じる市民の割合	25.4%	-	60%	
	「差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある」と考える市民の割合	78.6%	79.9%	85%	
	日常生活の中で人権が大切にされていると思う人の割合	53.3%	52.9%	60%	

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 人権啓発の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	市民一人ひとりが人権尊重の意識を高め、生き生きと暮らせる社会の実現	現状	多様な人権侵害が発生している	
課題	市民が人権について正しく理解することが必要	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		身近な問題として考えることができる啓発等の実施	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 「差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある」と考える市民の割合	78.6 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	81.0	82.0	83.0	85.0 (R12)	%
(4)	()					()	
(5)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 7 年度			5,568			
			4,726			
R 8 年度			5,361			
			5,181			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	3・1・6 人権啓発推進事業	人権男女共同参画課	1.80	5,568	5,361
合計			1.80	5,568	5,361

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。			
差額		分析	

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)			
平均達成率		分析	

9 取組の分析			
区分	分析視点	分析内容	
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載	
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している事業は無い		
効率性	・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か (直営・委託等)		
外的要因	・外的な要因による影響はあったのか。		

10 総合評価			
総合評価		<総評>	

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針
→	

概要シート

まちづくり大綱		施策	目的別事業群
3	人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	① 人権啓発の推進

事業の概要			
戦略	1 身近な問題として考えることができる啓発等の実施	予算	5,361千円 前年度 5,568千円
事務事業	1-1 人権啓発推進事業	予算	5,361千円 前年度 5,568千円

内容

1-1_人権啓発の推進

① 人権啓発の推進 (4,595千円 (前年度 4,802千円))

ア 啓発活動の実施 (うち 3,844千円)

(ア) 人権フェスティバルひがしひろしまの開催 (うち 2,085千円)

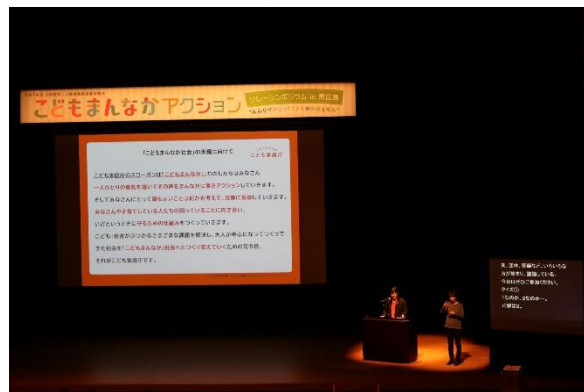
市民の人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権尊重意識の高揚を図ることを目的として開催する。小学校による「人権の花運動」の活動発表、中学生の人権作文の表彰、人権講演会、人権擁護委員による人権相談室などを予定。

(イ) 人権教育・人権啓発指導者研修会の開催 (うち 453千円)

人権教育・人権啓発の「指導者」としての役割を担う公務員、教職員、団体等の関係者を対象に、新しい情報や問題解決に向けて必要な知識などを提供する研修会をオンライン方式で開催する。



人権フェスティバル 2025 ひがしひろしま



人権教育・人権啓発指導者研修会

【新】(ウ) 人権啓発映画上映会 (うち 145千円)

人権課題への理解と関心を高めるため、親しみやすい映画の上映会を開催する。

【新】(イ) プライド月間の周知 (うち 81千円)

6月のプライド月間にあわせて、「性の多様性」に関する理解の促進および人権意識の向上を目的とした市職員向け研修会を開催するとともに、啓発パネルの展示を実施する。

事業の概要

イ 人権擁護事業への補助（うち 751 千円）

東広島竹原人権擁護委員協議会が実施する啓発活動や運営に係る事務費を補助。

② 人権課題への取組み（600 千円（前年度 600 千円））

ア 犯罪被害者等の支援（うち 600 千円）

犯罪被害者又はその遺族に対して、犯罪被害者等見舞金を支給する。

支給額：遺族見舞金 30 万円

傷害見舞金 10 万円

イ パートナーシップ宣誓制度の実施（うち 0 千円）

一方または双方が性的マイノリティである 2 人が、互いをパートナーとし、日常生活において相互に協力し合うことを約した関係（パートナーシップ）である旨の宣誓書を提出し、市が受領証等を交付するもの。

③ 人権教育及び人権啓発推進審議会（166 千円（前年度 166 千円））

人権啓発等の事業取組状況や事業実施計画等について審議を行う。

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	地域社会(職場を含む)において、男女の地域は平等と感じる市民の割合	25.4%	—	60%
	「差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある」と考える市民の割合	78.6%	79.9%	85%
	日常生活の中で人権が大切にされていると思う人の割合	53.3%	52.9%	60%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 男女共同参画の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	現状	固定的な性的役割分担意識が根付いている	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	性別による固定的な役割分担の「思い込み」が根深くあり、個人が能力を発揮できていない	性別による役割分担の無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気づく啓発等の実施	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 「女性が活躍しやすい」と感じている市民の割合(東広島市の暮らし幸福度アンケート)	49.8 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	52.0	53.0	54.0	57.0 (R12)	—
(イ)							
(ウ)							

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度		4,587				
		4,417				
R8年度		5,850				
		3,427				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	3・1・6 男女共同参画推進事業	人権男女共同参画課	1.40	4,587	5,850
合計			1.40	4,587	5,850

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的要因	・外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	② 男女共同参画の推進

事業の概要				
戦略	1 性別による役割分担の無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づく啓発等の実施	予算	5,850 千円	前年度 4,587 千円
事務事業	1-1 男女共同参画推進事業	予算	5,850 千円	前年度 4,587 千円
内容				
1-1_男女共同参画の推進				
① エスポワールの運営（5,642 千円（前年度 4,001 千円））				
ア 管理・運営（うち 3,959 千円）				
男女共同参画社会の実現を一層推進するため、人権男女共同参画課内へエスポワールを移転し、関係機関との連携体制の強化を図り、より効果的な運営を行う。				
イ 情報収集・提供（うち 66 千円）				
(ア) 男女共同参画に関わる図書等の収集及び紹介				
(イ) エスポワール通信の発行				
毎月 1 回配信（年間 12 回）				
【廃】活動支援としての団体等への活動スペースの提供				
エスポワールの移転にともない、活動スペースの提供を廃止する。				
ウ 啓発活動講座等の開催（うち 1,617 千円）				
【新】(ア) エスポワール塾の開催（うち 965 千円）				
内容：性別に関係なく、それぞれの意欲に応じて職場・家庭・地域で活躍できる社会の実現を目指し、地域づくりや職場づくり等に積極的に取り組んでいきたいと考える人を対象として連続講座を実施する。				
※令和 7 年度に広島県男女共同参画財団と共催して実施したエソール塾を引き継ぎ「エスポワール塾」として実施し、従来の「おしゃべりカフェ」と統合する。				
【新】(イ) 男女共同参画週間の周知（うち 392 千円）				
毎年 6 月 23 日から 29 日の男女共同参画週間にあわせて、イベントを開催する。				

事業の概要

(ウ) 男女共同参画推進講座（うち 199 千円）

アンコンシャス・バイアスに気づき向き合い、解消につなげる講座や男女共同参画の視点を取り入れた防災に関する講座を実施する。



アンコンシャス・バイアス講座

「それって思い込み？～歌って！
しゃべって！ウェルビーイング！～」



子育てぼうさい広場

「命を守る！家族・親子ミーティング」

(I) 男女共同参画の人形劇（うち 61 千円）

内容：男女共同参画の啓発を推進するパンセの会によるジェンダーをテーマとした人形劇。こどもたちにジェンダーについて考える機会を提供するもの。

対象：小学生



パンセの会による人形劇

(オ) 出前講座等（うち 0 千円）

危機管理課の出前講座や自主防災リーダー研修で、避難所等へ女性の視点を加えることの重要性を啓発する。

② 男女共同参画推進審議会（208 千円（前年度 208 千円））

審議会等委員への女性登用状況、第3次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）の取組状況、男女共同参画推進事業の実施状況及び次年度の実施計画について審議を行う。

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進		
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。				
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)	
	地域社会(職場を含む)において、男女の地域は平等と感じる市民の割合	25.4%	-	60%	
	「差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある」と考える市民の割合	78.6%	79.9%	85%	
	日常生活の中で人権が大切にされていると思う人の割合	53.3%	52.9%	60%	

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 平和を希求する人材の育成	主管部局・所属	総務部	総務課
関係部局・所属				

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	戦争の悲惨さと核兵器の残虐さを理解し、平和への願いを語れる人材の輩出	現状	啓発や教育機会の不足により、平和を志向する人材が育成できていない	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを直接知る機会が減少している	平和に関する啓発の場の確保		高	1
	平和に関する資料(情報)の確保		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R7	R8	R9		
(7) 市内小中学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率(過去開催累積)	39 (R5)	57	65	74	100 (R12)	%
(4) 市内高等学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率(過去開催累積)	33 (R5)	56	78	100	100 (R12)	%
(7) 平和学習バスに参加し、平和の尊さを学び、発信した児童・生徒の数	46 (R5)	46	92	92	92 (R12)	人

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
7 年度		7,584				
		7,584				
8 年度		4,610				
		2,223				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	2.1.12 平和行政推進事業	総務課	0.30	5,808	3,628
2-1	2.1.12 平和資料保存事業	総務課	0.10	1,776	982
合計			0.40	7,584	4,610

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的 要因	・外的な要因による影響は あったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	③ 平和を希求する人材の育成

事業の概要					
戦略	1	平和に関する啓発の場の確保	予算	3,628 千円	前年度 5,808 千円
事務事業	1-1	平和行政推進事業	予算	3,628 千円	前年度 5,808 千円

内容

1-1_平和に関する事業の推進

戦後 80 年を経過し、戦争の記憶が薄れる中、戦争・被爆体験者から直接、戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを聴くことのできる機会を設けるとともに、平和を希求する人材を育成する。

① 戦没者の追悼及び恒久平和の祈念 (2,766 千円 (前年度 3,704 千円))

平和祈念式典の開催などにより、市民の平和及び核兵器廃絶に対する意識の高揚を図る。

ア 戦没者追悼式並びに平和祈念式典の開催 (健康福祉部共催)

戦没者に哀悼の意を表し、今日平和を享受できる幸せと恒久平和を祈念する式典を開催する。また、同式典において、世代や国を超えた多様な市民による平和へのメッセージを発信することで、協調や調和、多文化共生による、いわゆる「ポジティブピース」の実現に向けた、未来志向の式典とするとともに、市民の平和に対する意識のさらなる高揚と次世代への戦争体験の確かな継承を図る。

時期：8月18日(予定)

会場：黒瀬生涯学習センター(予定)



戦没者追悼式並びに平和祈念式典



子ども平和メッセージ



東広島みらい合唱団

② 学習の場の提供 (311 千円 (前年度 466 千円))

小中学生をはじめ、市民が平和や非核兵器について学ぶ場を提供する。

ア 巡回原爆展の実施 (うち 161 千円)

市内小中学校、高等学校等で開催する。通常巡回原爆展に加え、原爆被爆資料展示室の資料を活用したコンパクトな原爆展も併せて実施し、開催機会の増加を図る。

事業の概要

【活動指標】

開催回数 10 回

※R6 実績 8 回、R7 実績 8 回（見込）

イ 被爆体験証言者の派遣（うち 150 千円）

市内小中学校、高等学校、大学及び住民自治協議会等へ被爆体験証言者を派遣し、被爆体験の講話を行う。

【活動指標】

派遣回数 5 回

※R6 実績 3 回、R7 実績 4 回（見込）



巡回原爆展



巡回原爆展(出張展示室)






被爆体験の講話

③ 平和に関する広報（551 千円（前年度 1,638 千円））

「平和・非核兵器都市東広島市宣言」等の周知をはじめ、「原爆の日」・「終戦の日」における黙とうを呼びかける。

ア 都市宣言デジタル表示盤の活用

市役所 2 階渡り廊下に設置した都市宣言デジタル表示盤を活用し、平和へのメッセージ等を表示する。

事業の概要					
戦略	2	平和に関する資料（情報）の確保	予算	982 千円	前年度 1,776 千円
事務事業	2-1	平和資料保存事業	予算	982 千円	前年度 1,776 千円
内容					
2-1_平和に関する資料の保存					
<p>原爆被爆資料を保存するとともに、戦争の悲惨さと平和の重要性を若い世代に伝承する活動を支援する。併せて、全国の自治体や平和活動団体と連携し、平和・非核兵器に関する情報を確保する。</p> <p>① 原爆被爆資料保存事業等の支援（797 千円（前年度 1,321 千円））</p> <p>平和学習活動、原爆被爆資料展示、被爆証言活動等を支援する。</p> <p>ア 東広島市原爆被爆資料保存推進協議会活動支援（うち 445 千円）</p> <p>(7) 平和学習活動</p> <p>市立小中学校の生徒・児童等が参加し、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ、平和学習バスを開催する（7～8 月）。</p> <p>【活動指標】</p> <p>児童・生徒数 92 人</p> <p>※R6 実績 46 人、R7 実績 48 人</p> <p>(イ) 被爆証言活動等</p> <p>被爆者の体験等を次代へ語り継ぎ、核兵器の残虐さと恒久平和への道を示す活動を実施する。</p> <p>(ウ) 原爆被爆資料展示等</p> <p>市民文化センター内の原爆被爆資料展示室に、遺物や資料を展示し、特別展等を開催する。</p> <p>【新】イ 原爆被爆資料展示室の多言語対応（うち 352 千円）</p> <p>被爆の実相等について市民に広く情報を発信するため、原爆被爆資料展示室の常設展示資料の解説を英語等に翻訳する。</p> <p>多言語化を進めることにより、外国人市民への平和啓発を促進し、施策への参加を促すとともに、被爆資料等のデジタルアーカイブ化による記憶の継承に向けた環境づくりを推進する。</p>					
					
原爆被爆資料展示室		平和学習バス		(高校生ガイドによる碑めぐり)	

事業の概要

② 平和・非核兵器に関する情報収集の強化（185 千円（前年度 455 千円））

平和の推進のための全国研修会等へ参加し、他の自治体や平和活動団体との連携を深め、広域的かつ多角的に平和・非核兵器に関する情報を収集する。

ア 平和団体との連携（うち 60 千円）

日本非核宣言自治体協議会、平和首長会議への加盟

団体名	加盟自治体数	会長都市
日本非核宣言自治体協議会	368	長崎市
平和首長会議	1,740(国内) 8,560(全世界)	広島市

※ 令和 8 年 1 月現在

イ 平和に関する国内加盟都市会議（うち 125 千円）

自治体間の連携と情報交換のため、全国規模の研修会等へ参加する。

・ 日本非核宣言自治体協議会（研修会）

R7 那覇市（R7.5 実施）

R8 長崎市（R8.5 予定）

・ 平和首長会議（国内加盟都市会議総会）

R7 長崎市（R7.8 実施）

R8 広島市（R8.8 予定）

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	2 乳幼児期における教育・保育の充実	
施策の将来の目標像	子どもたちの健やかな成長のため、子育て家庭に必要な養育力が備わり、質の高い教育・保育環境が整っています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	乳幼児期に育みたい力がついている子どもの割合	-	-	90%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 幼児教育・保育の充実	主管部局・所属	こども未来部 保育課
関係部局・所属	学校教育部	指導課	こども未来部 こども家庭課

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	質の高い教育・保育環境が整っている 子育て家庭に必要な養育力が備わっている	現状	教育・保育の質の向上が求められている 子育てに不安を抱える家庭がある	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
教育・保育人材の資質の更なる向上と、保育環境の充実が必要である	保育施設等での乳幼児教育・保育の充実		高	1
家庭教育に関する知識・ノウハウ、考え方を保護者が身につける機会が減少している	子育て家庭の養育力の向上に向けた対応		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 保育所等に通わせている保護者の、教育又は保育への肯定的回答(楽しんで通っている)の割合	92.0 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	92.2	93.4	94.5	98.0 (R12)	%
(4) 保育の質が確保されていると感じている保育士等の割合	- (R5)		72.5	74.0	75.5	80.0 (R12)	%
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度			34,806			
			18,520			
R8年度			34,965			
			18,644			

6 戦略を構成する事務事業


(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	3・2・1 保育の魅力向上推進事業	保育課	2.00	23,431	24,402
1-2	10・4・1 幼保小連携推進事業	指導課	0.05	213	251
2-1	4・1・3 家庭教育支援事業	こども家庭課	1.52	11,162	10,312
合計			3.57	34,806	34,965

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。		
差額	分析	
8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的 要因	・外的な要因による影響は あったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題	課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	2 乳幼児期における教育・保育の充実	① 幼児教育・保育の充実

事業の概要			
戦略	1 保育施設等での乳幼児教育・保育の充実	予算 24,653 千円	前年度 23,644 千円
事務事業	1-1 保育の魅力向上推進事業	予算 24,402 千円	前年度 23,431 千円
内容			
<p>1-1_保育の魅力向上の推進</p> <p>第2期ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプランに基づき、教育・保育の質の向上に取り組む。</p> <p>① 保育士等を対象とした研修の充実（9,113 千円（前年度 8,003 千円））</p> <p>ア 子育てサポート研修（うち 2,403 千円）</p> <p>保育実践につながる内容について研修を実施する。なお、受講機会の拡大および研修効果の向上のため、対面に加え、オンライン（ZOOM）およびオンデマンド（録画視聴）も活用し実施する。</p> <p>（研修コース）乳児保育、幼児教育、障がい児保育、食育・アレルギー、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援</p> <p>イ キャリアアップ研修（うち 741 千円）</p> <p>保育士の処遇改善につながるキャリアアップ研修の参加を促進する。</p> <p>（研修コース）乳児保育、マネジメント、障がい児保育、保護者支援</p> <p>ウ 保育コーディネーター研修（うち 183 千円）</p> <p>施設運営の中核を担う保育コーディネーターの育成、フォローアップ、連携を図る研修を実施する。</p> <p>（内容）保育コーディネーターの役割、互いに学びあう風土づくり、保育施設の視察、関係機関との連携</p> <p>エ 外部講師を活用した所属研修の充実（うち 2,027 千円）</p> <p>各施設において、大学教授等を講師に招き、各施設が抱える課題に応じた研修を実施する。</p> <p>【活動指標】</p> <p>参加施設数 39 施設（公立 23 施設、私立 16 施設）</p> <p>オ 施設長のマネジメント力の強化（うち 924 千円）</p> <p>施設全体のマネジメントを行う立場にある施設長を対象とした研修を実施する。</p>			
			
		<p>保育士等を対象とした研修の様子</p>	
<p>② アドバイザー等による巡回支援（6,622 千円（前年度 6,760 千円））</p> <p>ア 保育支援アドバイザー等による支援（うち 3,459 千円）</p>			

事業の概要

保育施設の良い職場環境づくりのため、保育支援アドバイザーによる若手保育士及び保育事業者の相談支援を行う。また、乳幼児教育の質向上を確保するため、乳幼児教育アドバイザーが各施設の保育士を伴走支援する。

イ 保育ソーシャルワーカーによる支援（うち 1,596 千円）

家庭環境等の支援を必要とする児童やその保護者への対応について、保育施設を巡回して相談に応じる。

ウ 乳幼児教育スーパーバイザーによる支援（うち 1,567 千円）

乳幼児教育の質のさらなる向上を図るため、保育施設において専門理論を保育実践で活用できるよう、大学等研究機関の専門家が教育・保育の手法等について指導及び助言を行う。

③ 保育環境の充実（8,667 千円（前年度 8,668 千円））

ア 子どもの5つの力を育む保育環境づくり（うち 8,217 千円）

保育室及び園庭等の改善により、子どもの豊かな体験を生む環境づくりを支援する。



保護者等と一緒にを行う保育環境づくりワークショップの様子



環境改善をした園庭で、それぞれの向き合い方でよく考え、遊ぶ子どもたち

【活動指標】

参加施設数 16 施設

イ 自然保育の推進（うち 450 千円）

広島県が実施する「ひろしま自然保育認証制度」に基づき、認証を受けた施設による自然体験活動を支援する。

【活動指標】

認証施設数 8 施設（公立）

事業の概要			
戦略	1 保育施設等での乳幼児教育 ・保育の充実	予算 24,653 千円	前年度 23,644 千円
事務事業	1-2 幼保小連携推進事業	予算 251 千円	前年度 213 千円
内容			
1-2_幼稚園、保育所、小学校の連携・接続の推進			
① 幼保小連携の推進（251 千円（前年度 213 千円））			
幼稚園・保育所・認定こども園等から小学校へと円滑な接続を行い、子どもの育ちと学びを連続させていくため、幼保小連携の充実を図る。			
【活動指標】			
幼保小連携担当者研修の実施：2回			
幼保小連携セミナーの実施：3回			
保育公開の実施：60施設			
幼保小連携・接続モデル地域：1地域			

事業の概要			
戦略	2 子育て家庭の養育力の向上に向けた対応	予算 10,312 千円	前年度 11,162 千円
事務事業	2-1 家庭教育支援事業	予算 10,312 千円	前年度 11,162 千円

内容

2-1_家庭教育支援

- ① 妊娠期から子育て期までの教室開催等 (6,177 千円 (前年度 5,158 千円))
 妊娠や出産、子育てに関する正しい知識を提供するため、教室を開催する。なお、妊娠期・乳幼児期における各種教室の予約については、市民ポータルサイトを活用し、24 時間受付を行う。

ア 妊娠期

(ア) マタニティ教室

出産に向けた不安軽減や子育ての仲間づくりのきっかけづくり

(イ) パパママ教室

父親の育児参加を促進

内容：妊婦体験や沐浴体験、夫婦コミュニケーション

イ 乳幼児期

(ア) 小児科医師による子育て講座

子どもがかかりやすい病気への対応や情報提供

(イ) 食育を推進する教室等

栄養士による月齢に応じた離乳食教室 (はじめての離乳食教室・モグモグ期・カミカミ期)、親子クッキング教室、食育の日イベント

(ウ) 子育て拠点における特色ある教室

- ・地域すくすくサポート：父親等を対象とした教室
- ・子育て支援拠点：親子ヨガ教室や助産師による「幼児期から行う性のおはなし」など



はじめての離乳食教室の様子



食育ひろば (おやつクッキング) の様子

ウ 思春期以降

東広島地区医師会産婦人科医等と協働し、自身の心と体を知り、男女の性について正しく理解し、互いに尊重し合う気持ちを養うことを目的に思

事業の概要

春期健康教育を開催する。また若い頃から生活習慣や健康管理など「プレ
コンセプションケア」について考える機会を提供する。

【活動指標】 中学校・日本語学校・大学生を対象に 15 教室



中学校の思春期教室の様子

② 基幹型子育て支援センター運営 (4,135 千円 (前年度 4,066 千円))

子育て支援拠点である地域子育て支援センターとの連絡調整や、関係機関との連携強化、子育て支援員等のスキルアップを図るため、定期的に会議や研修会を開催する。

【活動指標】 子育て支援者会議開催回数 4 回 研修会 2 回



子育て支援・保護者支援研修
の様子

※「②BPプログラム（親子の絆づくりプログラム）教室の実施」は、目的別事業群 5-6-① 2-1 こども家庭センター事業へ移管。

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童生徒の割合	小学校10.8% 中学校17.6%	小学校12.7% 中学校23.4%	小学校10% 中学校17%
	不登校児童生徒のうち、専門的な相談を受けた割合	小学校53.1% 中学校48.6%	小学校61.4% 中学校56.9%	小学校・中学校 100%
	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の仕組みを活かして、保護者や地域との協働による活動を行った学校の割合	小学校68.7% 中学校60.0%	小学校95.0% 中学校77.7%	小学校79% 中学校67%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 学校運営の支援と教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	学校教育部 教育総務課	学校教育部	学事課

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	本市の高い教育水準が維持されるとともに、学校業務の抱え込みを解消することができる	現状	校長のマネジメントに支援を要する状況及び高い教育水準の維持が困難な状況が見られる	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
学校運営・教育内容の両面において学校教育の情報化の推進が必要である		ICT環境を最大限活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実	高	1
新しい教育課題に対応するためには、教員の力量形成が不可欠である		新しい時代に対応した学びを実現する校内研修の充実及び「東広島教育」の創造	高	2
安全かつ魅力的な施設の観点において計画的施設整備が不可欠である		未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修	低	3
多様化する教育課題の対応に加え、特色ある教育活動を行うための学校への支援が必要である		特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力の活用	低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	終期目標値 (年度) 達成率	単位		
					R7	R8
(7) 全国学力・学習状況調査における正答率40%未満の児童生徒の割合	14.2 (R5) マイナス指標設定	14.0	13.9	13.8	13.5 (R12)	%
(4) 研修の成果を教育活動に積極的に反映させていると回答する教員の割合	82.7 (R5)	83.5	84.0	84.5	86.0 (R12)	%
(7) PC・タブレットなどのICT機器を、授業で週3回以上活用したと回答した学校の割合	81.0 (R5)	89.0	93.0	97.0	100.0 (R12)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度		6,325,381				
		2,384,661				
R8年度		5,297,910				
		2,083,660				

6 戦略を構成する事務事業



(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	10・2・1及び10・3・1 小・中学校情報機器管理事業	教育総務課	3.35	463,006	372,592
1-2	10・1・3 未来の学び推進事業	指導課	1.00	66,108	50,294
2-1	10・1・3 学校教育推進事業	指導課	2.13	78,905	20,581
2-2	10・1・3 外国語教育推進事業	指導課	0.75	99,507	108,519
2-3	10・1・3 学校図書館運営事業	指導課	0.50	45,278	49,303
2-4	10・2・2及び10・3・2 小・中学校図書整備事業	指導課	0.40	25,857	28,648
3-1	10・2・3及び10・3・3 小・中学校施設整備事業	教育総務課	3.40	4,835,674	3,964,160
4-1	10・1・3 学校支援センター運営事業	指導課	1.00	53,706	61,220
4-2	10・1・3 学校の元気応援事業	指導課	0.83	138,732	150,003
4-3	10・1・3 部活動等支援事業	指導課	0.50	59,356	70,039
4-4	10・1・3 小中一貫教育推進事業	指導課	1.50	4,532	4,323
4-5	10・2・1及び10・3・1 小・中学校運営事業	学事課	1.81	104,940	114,275
4-6	10・2・1及び10・3・1 小・中学校通学支援事業	学事課	1.24	248,371	202,289
4-7	10・1・3 学校保健事業	学事課	2.55	101,409	101,664
合計			20.96	6,325,381	5,297,910

7 R8事業費の分析（左欄「R8年度当初予算額」・「R8年度決算額」） ※決算額には繰越を含む。		分析
8 R8成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している事業は無いか	
効率性	・コスト削減余地は無いか ・実施主体は適切か（直営・委託等）	
外的要因	・外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題	課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	① 学校運営の支援と教育内容の充実

事業の概要			
戦略	1 ICT環境を最大限活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実	予算 422,886 千円	前年度 529,114 千円
事務事業	1-1 小・中学校情報機器管理事業	予算 372,592 千円	前年度 463,006 千円
内容			
1-1_小・中学校情報機器の管理			
<p>① 校務用PC・学習用タブレットの整備及び管理 (198,576 千円 (前年度 277,417 千円))</p> <p>教職員が使用する校務用PCの一部更新及び管理、GIGAスクール第2期における学習用タブレットの管理を行う。</p>			
<p>② 大型提示装置（電子黒板）の整備及び管理 (18,858 千円 (前年度 17,210 千円))</p> <p>経年劣化した機器の更新のほか、既存機器の管理等を行う。</p>			
<p>③ 情報通信ネットワーク環境の整備及び管理 (38,985 千円 (前年度 52,671 千円))</p> <p>インターネット回線増強、校内LAN機器等の更新に向けた調達、校舎工事に伴う機器移設のほか、貸出用モバイルルータや無線LAN環境等の保守管理、学校用スマートフォンの更新等を行う。</p>			
<p>④ 統合サーバ・校務支援システムの運用及び管理 (75,673 千円 (前年度 81,058 千円))</p> <p>クラウド環境を活用し、校務グループウェアや校務支援システムの運用及び管理を行う。</p>			
<p>⑤ ICT支援員（環境整備）業務の委託 (40,500 千円 (前年度 34,650 千円))</p> <p>業務委託によりICT支援員を確保し、環境整備やトラブル対応など学校教育におけるICT活用を支援する。</p>			
			

事業の概要			
戦略	1	ICT環境を最大限活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実	予算 422,886千円 前年度 529,114千円
事務事業	1-2	未来の学び推進事業	予算 50,294千円 前年度 66,108千円

内容

1-2_未来の学び推進事業

① 学習履歴を活用した個別最適な学びの推進

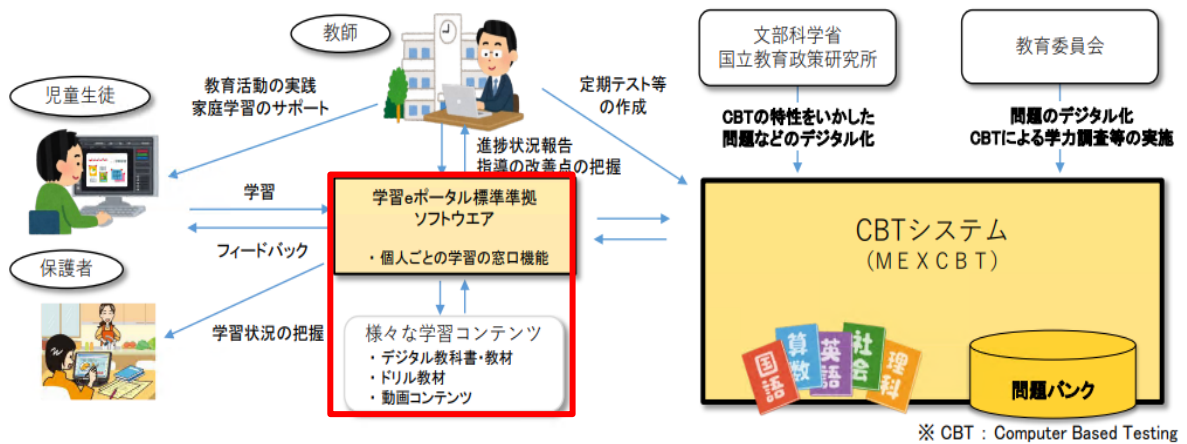
(45,661千円(前年度40,260千円))

ア 学習eポータル及びデジタルドリル(小中学校)

学習の窓口となる学習eポータルと連携したAI機能搭載のデジタルドリルの活用を推進し、蓄積された学習ログを活用して、個の実態に応じた指導や授業改善等を図る。

イ デジタル採点支援システム(中学校)

テストの採点・集計をデジタル化し、蓄積された学習ログを活用して、個の実態に応じた指導や授業改善等を推進する。



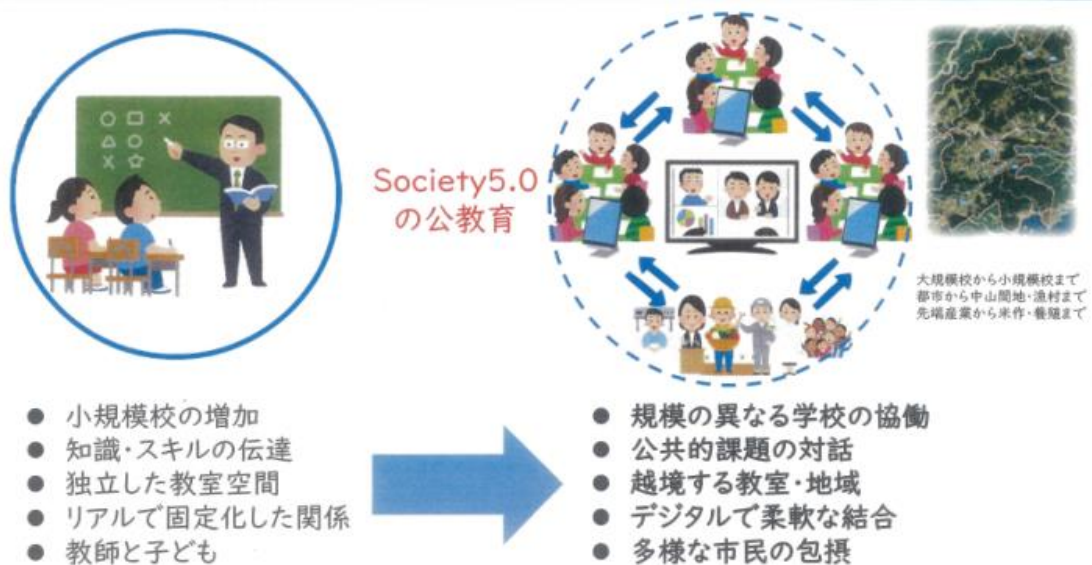
② 協働的な学びの充実に資する学習機会の創出

(1,974 千円 (前年度 23,162 千円))

ア 遠隔教育に関する広島大学との共同研究

異なる立場や価値観をもつ子どもや市民等がオンラインを介して対話を行い、協働して課題解決や社会づくりに参画するための資質・能力を育成する。

- ・カリキュラムの開発
- ・社会基盤の開発
- ・AI 学習支援プログラムの開発



※「ラーニングルーム（協働学習ルーム）の整備」は、学校施設の長寿命化改良等工事实施に併せて整備する。

事業の概要			
戦略	2	新しい時代に対応した学びを実現する校内研修の充実及び「東広島教育」の創造	予算 207,051 千円 前年度 249,547 千円
事務事業	2-1	学校教育推進事業	予算 20,581 千円 前年度 78,905 千円
内容			
2-1_学校教育の推進			
<p>① 市教育推進指定校による研究公開の実施（1,298 千円（前年度 1,553 千円）） 小中学校における先進的な教育研究と研究公開を支援し、その研究成果を市内へ普及させる。</p> <p>【活動指標】 市教育推進指定校による研究公開の実施：5 回 （高屋西小、東西条小、木谷小、八本松中、高屋中）</p> <p>② 市教育委員会主催研修の実施（401 千円（前年度 338 千円）） 全教職員を対象とした研修を実施し、学校教育レベルアッププランの内容を周知するとともに、これからの社会を生きるために重視する資質・能力の育成に必要な専門的な知識を習得させる。</p> <p>【活動指標】 全教職員研修の実施：3 回 管理職研修の実施：2 回</p> <p>③ 標準学力検査の実施（7,489 千円（前年度 7,244 千円）） 児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、指導内容や指導方法の改善・充実を図るために、標準学力検査を実施する。</p> <p>④ 体力向上の推進（192 千円（前年度 191 千円）） 体育科・保健体育科の授業改善の取組を推進し、授業の質を向上させることで、児童生徒の運動・スポーツへの意欲を高め、体力の一層の向上を図る。</p> <p>【活動指標】 小学校体育授業力向上研修の実施：1 回 中学校保健体育授業力向上研修の実施：1 回</p>			

事業の概要			
戦略	2	新しい時代に対応した学びを実現する校内研修の充実及び「東広島教育」の創造	予算 207,051 千円 前年度 249,547 千円
事務事業	2-2	外国語教育推進事業	予算 108,519 千円 前年度 99,507 千円
内容			
2-2_外国語教育の推進			
<p>① 外国語指導助手（A L T）の派遣（105,731 千円（前年度 99,419 千円）） 外国語教育の充実を図るために、J E Tプログラムの外国語指導助手（A L T）を小中学校に派遣する。</p> <p>【配置数】 外国語指導助手（A L T）の派遣：17人 （R7年度：17人） 外国語指導助手（A L T）コーディネーターの配置：1人</p> <p>② 外国語指導力向上研修の実施（88 千円（前年度 88 千円）） 小中学校における外国語教育の充実及び円滑な接続を推進するために、外国語指導者の指導力を向上させる研修を実施する。</p> <p>【活動指標】 外国語指導力向上研修の実施：中学校 2 回、小学校 1 回 （内、1 回は小中学校合同）</p> <p>【新】③ A I 英会話アプリの導入（2,700 千円） 中学校外国語科における A I の先進的かつ効果的な活用方法について研究するため、試行導入校 2 校を指定し、A I 英会話アプリを導入する。</p>			

事業の概要							
戦略	2	新しい時代に対応した学びを実現する校内研修の充実及び「東広島教育」の創造	予算 207,051 千円 前年度 249,547 千円				
事務事業	2-3	学校図書館運営事業	予算 49,303 千円 前年度 45,278 千円				
内容							
2-3_学校図書館運営の推進							
【拡】① 学校司書の配置（45,265 千円（前年度 41,294 千円））							
学校図書館の整備や学校図書館を活用した教育の充実を図るために、小中学校に専門的知識を有する学校司書を配置する。							
【配置数】							
学校司書の配置：小・中学校 47 校（小学校 33 校、中学校 14 校）							
学校司書 33 人							
※配置率：1.42 校に 1 人（国の基準：1.3 校に 1 人）							
※もみじ小・中学校は学校図書館を共有しているため、小学校に含む。							
○小学校の学校司書数							
	R3	R4	R5	R6	R7	R8 (予定)	R9 (予定)
学校司書数	11 人	14 人	15 人	17 人	18 人	19 人	20 人
1 人当たりの校数	3 校	2～3 校	1～3 校	1～3 校	1～3 校	1～2 校	1～2 校
○中学校の学校司書数							
	R3	R4	R5	R6	R7	R8 (予定)	R9 (予定)
学校司書数	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人
配置校	全校配置						
② 学校図書館システムの管理運営（4,038 千円（前年度 3,984 千円））							
システム保守業務の委託等を通して、小中学校に配備している学校図書館システムの円滑な運用を図る。							

事業の概要			
戦略	2	新しい時代に対応した学びを 実現する校内研修の充実及び 「東広島教育」の創造	予算 207,051 千円 前年度 249,547 千円
事務事業	2-4	小・中学校図書整備事業	予算 28,648 千円 前年度 25,857 千円

内容

2-4_小・中学校の図書整備

- ① 小・中学校の図書の購入（28,648 千円（前年度 25,857 千円））

学校図書館の蔵書の充実を図るとともに、学校図書館の利用促進への支援により、児童生徒の読書意欲を喚起し、読書活動の活性化を図る。

【活動指標】

図書の購入：小学校 7,382 冊
中学校 4,000 冊



季節に合わせた図書展示



学年の本棚

事業の概要				
戦略	3	未来的志向での学校施設整備 及び長寿命化計画に基づく学校 施設の大規模改修	予算 3,964,160千円	前年度 4,835,674千円
事務事業	3-1	小・中学校施設整備事業	予算 3,964,160千円	前年度 4,835,674千円
内容				
3-1_小・中学校の施設整備				
① 校舎等整備事業				
児童・生徒数の増加に対応するため増築を行う。				
ア 松賀中学校増築等設計業務 (29,094千円)				
		R6	R7	R8
ア松賀中学校			設計	
② 長寿命化改良整備事業				
既存施設の長寿命化を進め、学校の環境改善を図る。				
ア 川上小学校長寿命化改良及び増築工事 (361,382千円)				
イ 下黒瀬小学校長寿命化改良工事 (1,126,521千円)				
ウ 板城西小学校長寿命化改良工事 (573,689千円)				
エ 郷田小学校長寿命化改良及び増築工事 (1,498,780千円)				
【新】オ 原小学校長寿命化改良基本計画策定業務 (16,000千円)				
		R6	R7	R8
ア川上小学校			工事	
イ下黒瀬小学校		設計		工事
ウ板城西小学校		設計		工事
エ郷田小学校		仮設校舎		工事
オ原小学校				基本計画
③ 小中学校トイレ環境改善事業 (90,000千円)				
洋式化などトイレの環境改善を進める。				
		小学校	中学校	
R7年度末の洋便器率		83.7%	84.9%	
④ その他				
特定の施設における必要な改修等を実施する。				
ア 小中学校屋内運動場空調設備運営事業 (ESCO事業) (98,153千円)				
		設置済	R7	R8
ESCO事業		入野小、木谷小、 三津小、風早小、 高屋中、安芸津中	下黒瀬小、龍王小、 磯松中	高美が丘中、豊栄 中、中央中
長寿命化事業		西条中		川上小
イ 個別改修等 (170,541千円)				
・川上小学校屋外便所新築及びグラウンド屋外放送設備設置工事				
・空調保守管理・運営事業 (PFI・安芸津中) など				

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力の活用	予算 703,813 千円 前年度 711,046 千円
事務事業	4-1	学校支援センター運営事業	予算 61,220 千円 前年度 53,706 千円
内容			
<p>4-1_学校運営の支援と教育内容の充実</p> <p>① 学校支援センターの運営（61,220 千円（前年度 53,706 千円））</p> <p>ア スクールサポーター（退職教員）による支援（教科指導、学校運営、学校環境整備、部活動支援）</p> <p>イ 若手教員に対する伴走型支援</p> <p>ウ 教員に対する I C T の利活用促進のための学校派遣型研修の実施</p> <p>【拡】エ I C T を活用した授業づくりに対する支援の充実</p> <p>国の配置基準（4校に1人）に従い、I C T 支援員（授業支援）を1人増員し、計6人を配置する。支援員は、授業での I C T 活用、教員の I C T スキル向上などを支援する。</p>			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力の活用	予算 703,813 千円 前年度 711,046 千円
事務事業	4-2	学校の元気応援事業	予算 150,003 千円 前年度 138,732 千円
内容			
4-2_学校の特色ある教育活動の応援			
<p>① 特色ある学校づくりの支援（8,162 千円（前年度 8,016 千円）） 各学校の特色ある学校づくりを推進するために、外部講師を招聘しての校内研修や一校一和文化学習などの教育活動、環境整備や緑化活動などの取組を支援する。</p> <p>【活動指標】 高度な専門性を有する指導者の派遣：110回 専門性を有する指導者の派遣：160回 マイタウンティーチャー・留学生の派遣：1,500回</p> <p>② 学校経営アドバイザーの配置（15,207 千円（前年度 14,255 千円）） 学校経営や優れた教科指導、生徒指導、部活動指導の力量や経験を有する退職管理職を学校経営アドバイザーとして配置する。</p> <p>【配置数】 学校経営アドバイザーの配置：4人</p> <p>③ 教科等指導支援員の配置（26,828 千円（前年度 25,090 千円）） 小中学校の教科指導等における特色ある教育活動や特別支援学級における教科指導の充実を図るため、教科等指導支援員を配置する。</p> <p>【配置数】 教科等指導支援員の配置：7校7人</p> <p>④ 中学校音楽会の開催（1,565 千円（前年度 1,369 千円）） 音楽会を通して、生徒相互の交流を深めるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、音楽を愛好する心情や態度を育てる。</p> <p>⑤ 小学校陸上・水泳記録会の開催（3,605 千円（前年度 3,229 千円）） 陸上・水泳記録会を通して、児童相互の交流を深めるとともに、運動への意欲を高め、運動能力を向上させる。</p> <p>⑥ 中学生職場体験学習の実施（425 千円（前年度 413 千円）） 働くことの意義を理解し、主体的に進路を決定しようとする意欲をもたせるために、中学校2年生を対象に職場体験学習を実施する。</p> <p>【活動指標】 中学生職場体験学習の実施：14校</p>			

事業の概要

⑦ 学校運営協議会委員の任用（1,765千円（前年度1,722千円））

学校が地域とともによりよい学校運営を実施するために、学校運営協議会を設置し、委員を任用する。

【任用数】

学校運営協議会委員の任用：41協議会420人

⑧ コミュニティ・スクール推進員の配置

（90,171千円（前年度83,440千円））

学校運営協議会に係る連絡調整や地域学校協働活動推進員との連携、学校用務など、学校運営の支援を図るために、コミュニティ・スクール推進員を配置する。

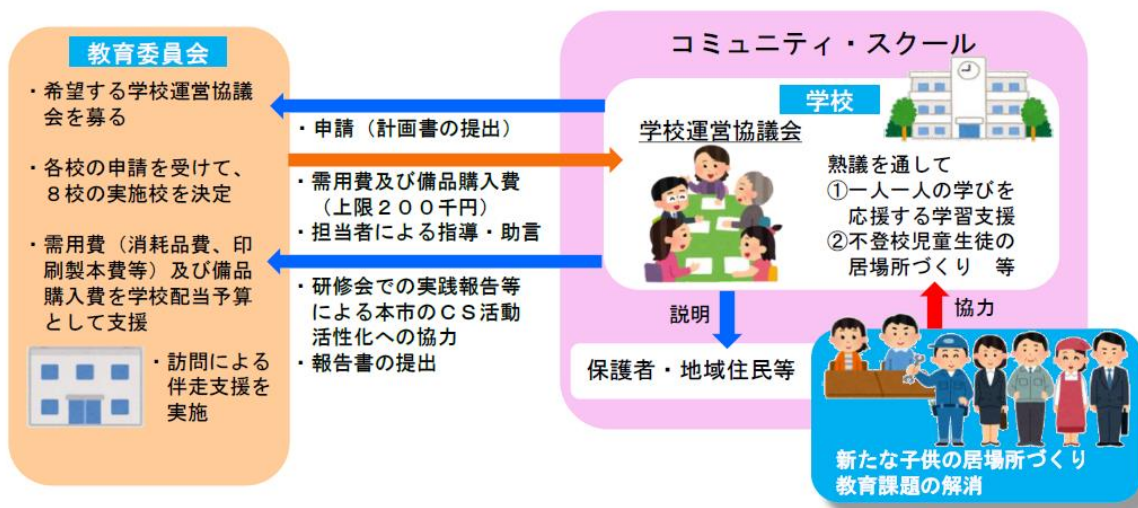
【配置数】

コミュニティ・スクール推進員の配置：32人（令和7年度：32人）

【拡】⑨ CS挑戦応援事業の実施（1,600千円（前年度1,000千円））

教育課題の解決を目指し、学校と地域による熟議を活性化し、子どもたちが安心して学び成長できる新たな居場所づくりへの支援を行う。

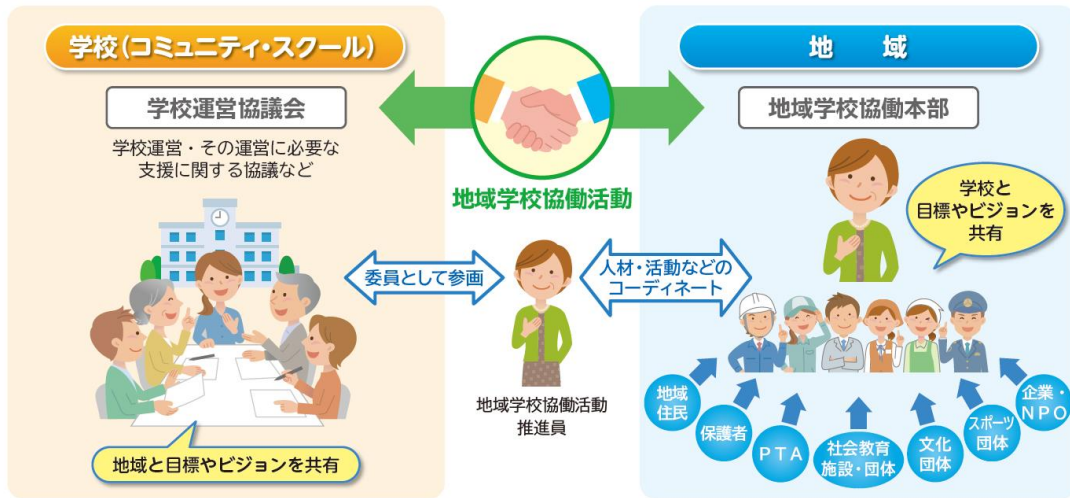
【活動指標】支援対象：8学校運営協議会



【新】⑩ コミュニティ・スクールシンポジウムの開催（97千円）

シンポジウムを通じて、学校と地域の「目標」や「ビジョン」を共有し、相互理解と協働の質を高め、コミュニティ・スクールの活性化につなげる。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



文部科学省「これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」

事業の概要			
戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力の活用	予算 703,813 千円	前年度 711,046 千円
事務事業	4-3 部活動等支援事業	予算 70,039 千円	前年度 59,356 千円

内容

4-3_部活動等への支援

① 大会や団体への負担金及び補助金の支援(3,727千円(前年度3,540千円))
 中学校体育連盟への加盟金を負担する。また、市内で実施される中国中学校駅伝競走大会や小学生体育連盟の事業に対して補助する。

② 児童・生徒の大会への派遣費の補助(21,300千円(前年度21,300千円))
 中学校体育連盟及び中学校文化部連盟主催の大会等への生徒の参加に係る保護者への負担軽減を図るために、基準に照らし、中学校に派遣費を補助する。また、全国大会へ出場する小学校に派遣費を補助する。

【拡】③ 部活動指導員の配置(23,908千円(前年度21,192千円))

部活動を担当する教員の負担軽減や専門性を生かした部活動指導を行うために、部活動指導員を配置する。

【配置数】

部活動指導員の配置：14校28人を予定

(R8年1月実績：14校25人)

○部活動指導員の配置先等

	R5	R6	R7 (R8年1月末)	R8 (予定)
配置先	西条中(柔道) 向陽中(テニス) 八本松中(陸上) 志和中(ゴルフ) 磯松中(バレー) 松賀中(野球) 黒瀬中(バスケ、柔道) 安芸津中(バレー) 中央中(美術)	西条中(柔道、バレー、バスケ、卓球) 向陽中(テニス) 八本松中(陸上、野球) 志和中(ゴルフ、テニス) 磯松中(バレー、野球) 高美が丘中(バスケ) 黒瀬中(バスケ、柔道、剣道) 福富中(テニス) 豊栄中(野球) 河内中(トレーナー) 中央中(美術、剣道)	西条中(柔道、バスケ、卓球) 向陽中(テニス、野球、剣道) 八本松中(陸上、野球、剣道) 志和中(ゴルフ、テニス) 高屋中(柔道) 磯松中(バレー) 松賀中(バレー、ソフトボール) 高美が丘中(バスケ) 黒瀬中(柔道、剣道) 福富中(テニス、吹奏楽) 豊栄中(野球) 河内中(バレー) 安芸津中(総合文化) 中央中(美術、剣道)	西条中(柔道、バスケ、卓球) 向陽中(テニス、野球、剣道) 八本松中(陸上、野球、剣道) 志和中(ゴルフ、テニス) 高屋中(柔道、バスケ) 磯松中(バレー、テニス) 松賀中(バレー、ソフトボール) 高美が丘中(バスケ) 黒瀬中(柔道、剣道) 福富中(テニス、吹奏楽) 豊栄中(野球) 河内中(バレー) 安芸津中(バスケ、総合文化) 中央中(美術、剣道)
人数	10人	21人	25人	28人

④ 部活動の地域展開に係る検討会議の開催(463千円(前年度301千円))
 部活動の地域展開の方針や取組を検討するために、教育委員会、学校、地域、大学等の代表者による検討会議を開催する。

【活動指標】

部活動の地域展開に係る検討会議の開催：2回

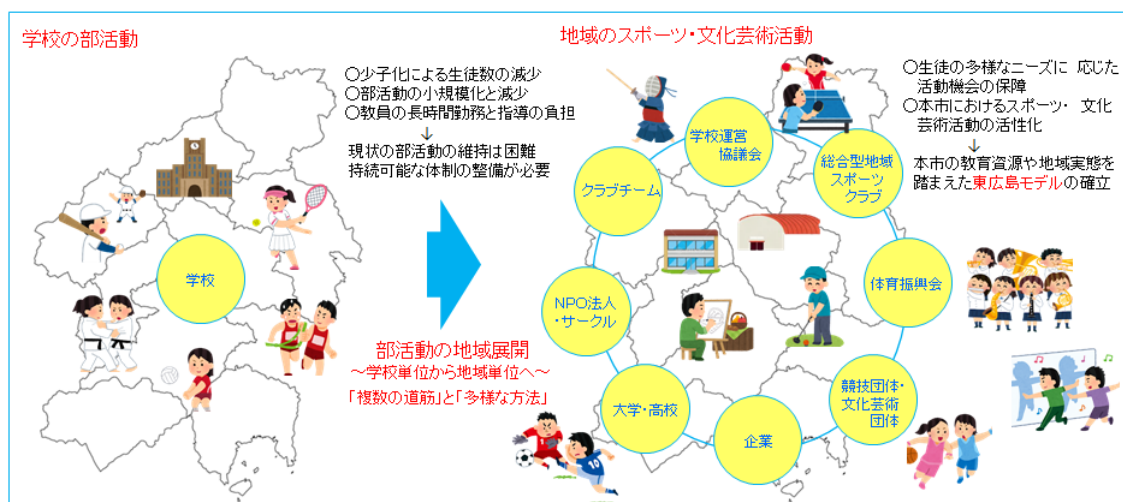
事業の概要

【拡】⑤ 部活動の地域展開実践モデル地域の設置 (16,802 千円 (前年度 9,425 千円))
部活動の地域展開の在り方や方法を研究・推進するために、実践モデルを設ける。

【活動指標】

部活動の地域展開 地域連携モデル：志和地域
大学連携モデル：市内全域
団体連携モデル：市内全域
地域展開モデル（新規）：8 団体

○部活動の地域展開グランドデザイン



⑥ 部活動支援コーディネーターの配置 (3,839 千円 (前年度 3,598 千円))
部活動の地域展開に関する諸課題への対応や、大学、企業、競技団体等との連携を専門的な立場で行い、部活動の地域展開を推進していくため、部活動支援コーディネーターを配置する。

【配置数】

部活動支援コーディネーターの配置：1 人

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力の活用	予算 703,813 千円 前年度 711,046 千円
事務事業	4-4	小中一貫教育推進事業	予算 4,323 千円 前年度 4,532 千円
内容			
<p>4-4_小中一貫教育の推進</p> <p>① 小中一貫教育の推進 (3,982 千円 (前年度 4,325 千円))</p> <p>小中一貫教育の推進を図るために、福富地域、志和地域、河内地域、豊栄地域における特色ある教育課程の実施を支援する。</p> <p>【活動指標】</p> <p>特色ある教育課程の実施：福富地域 (アントレプレナーシップ教育) 志和地域 (e S T E A M教育) 河内地域 (地域創生プロジェクト) 豊栄地域 (自然科学)</p> <p>② 小規模校における特色ある教育活動の推進 (341 千円 (前年度 207 千円))</p> <p>小規模校の特性を生かした教育を推進するために、小規模特認校における特色ある教育活動の実施を支援する。</p> <p>【活動指標】</p> <p>特色ある教育活動の実施：吉川小 (地元企業と連携した学習) 木谷小 (単元内自由進度学習)</p>			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力の活用	予算 703,813 千円 前年度 711,046 千円
事務事業	4-5	小・中学校運営事業	予算 114,275 千円 前年度 104,940 千円
内容			
<p>4-5_小・中学校運営の支援</p> <p>① 学校運営体制の支援（110,593 千円（前年度 101,395 千円））</p> <p>【小学校への配置数】 看護師 3 人、学校事務職 3 人、養護講師 4 人</p> <p>【中学校への配置数】 看護師 1 人、講師 8 人、学校事務職 4 人、養護講師 2 人</p> <p>② 関係団体への負担金及び補助金（3,682 千円（前年度 3,545 千円））</p> <p>【負担金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県連合小学校長会 ・ 広島県公立学校校長会連合会 ・ 広島県公立中学校長会 ・ 広島県公立小・中学校事務長会 ・ 広島県小学校教育研究会 ・ 広島県中学校教育研究会 ・ 教職員研修会等参加負担金 <p>【補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東広島市小学校教頭会 ・ 東広島市中学校教頭会 ・ 東広島市立学校教育研究会 			

事業の概要												
戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力の活用	予算 703,813 千円	前年度 711,046 千円									
事務事業	4-6 小・中学校通学支援事業	予算 202,289 千円	前年度 248,371 千円									
内容												
4-6_小・中学生への通学支援												
① 小学校の通学支援（スクールバス・スクールタクシー運行） （168,158 千円（前年度 205,612 千円）） 学校統合等による遠距離通学児童への通学支援として、スクールバス・スクールタクシーを運行する。 【対象校】 板城小、志和小、中黒瀬小、福富小、豊栄小、河内小、入野小、風早小												
② 中学校の通学支援（スクールバス運行）（24,452 千円（前年度 32,269 千円）） 【対象校】 高屋中、河内中（臨時便）												
③ 遠距離通学児童生徒の通学費補助（4,790 千円（前年度 4,887 千円）） 【小学校】川上小、中黒瀬小 【中学校】高屋中、河内中 公共交通機関の定期代などを負担する。												
④ 自転車通学生徒ヘルメット購入費の補助（4,386 千円（前年度 5,075 千円）） 【対象者】市内全中学校生徒（1,253 人分） ヘルメット購入費用の一部を補助する。（上限 3,500 円）												
⑤ 特認校への通学費補助（503 千円（前年度 528 千円）） 小規模特認校及び小中一貫特認校への通学費の一部を補助する。												
ア 小規模特認校												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>人数(見込み)</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉川小</td> <td>21 人</td> <td>264 千円</td> </tr> <tr> <td>木谷小</td> <td>2 人</td> <td>63 千円</td> </tr> </tbody> </table>				学校	人数(見込み)	補助額	吉川小	21 人	264 千円	木谷小	2 人	63 千円
学校	人数(見込み)	補助額										
吉川小	21 人	264 千円										
木谷小	2 人	63 千円										
イ 小中一貫特認校												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>人数(見込み)</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福富小・福富中</td> <td>4 人</td> <td>97 千円</td> </tr> <tr> <td>河内小・入野小・河内中</td> <td>3 人</td> <td>78 千円</td> </tr> </tbody> </table>				学校	人数(見込み)	補助額	福富小・福富中	4 人	97 千円	河内小・入野小・河内中	3 人	78 千円
学校	人数(見込み)	補助額										
福富小・福富中	4 人	97 千円										
河内小・入野小・河内中	3 人	78 千円										

事業の概要			
戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力の活用	予算 703,813 千円	前年度 711,046 千円
事務事業	4-7 学校保健事業	予算 101,664 千円	前年度 101,409 千円
内容			
4-7_学校保健の推進			
① 各種健康診断及び各種学校環境衛生検査の実施 (84,664 千円 (前年度 84,452 千円))			
【健康診断実施内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒等の健康診断 (内科検診、歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、結核検診、尿検査、心電図検査) ・ 就学時の健康診断 ・ 教職員の健康診断(情報機器作業に関する健康診断を含む)、ストレスチェック 			
【学校環境衛生検査実施内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気中の化学物質濃度検査 ・ プール水及び飲料水水質検査 ・ 教室等の環境検査 			
② 各種保険等への加入及び関係団体への補助金交付、研修等参加助成 (17,000 千円 (前年度 16,957 千円))			
【加入保険】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本スポーツ振興センター災害共済 ・ 全国市長会学校災害賠償補償保険 			
【負担金】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本スポーツ振興センター ・ 広島県学校保健会 ・ 衛生推進者・管理者等養成講習会参加費 			
【補助金】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東広島市学校保健会 			

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童生徒の割合	小学校10.8% 中学校17.6%	小学校12.7% 中学校23.4%	小学校10% 中学校17%
	不登校児童生徒のうち、専門的な相談を受けた割合	小学校53.1% 中学校48.6%	小学校61.4% 中学校56.9%	小学校・中学校 100%
	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の仕組みを活かして、保護者や地域との協働による活動を行った学校の割合	小学校68.7% 中学校60.0%	小学校95.0% 中学校77.7%	小学校79% 中学校67%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 特別なニーズに対応した教育の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	学校教育部 教育総務課	学校教育部	学事課

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	障がいの有無、国籍、家庭の経済事情等にかかわらず、全ての子どもが、夢に向かって自己実現できる教育環境が整う	現状	現代的課題は増加し、学びのセーフティネット構築の必要性が学校教育、社会教育両面で益々求められている	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	諸課題を抱える児童生徒の状況に対応するための仕組みづくりが十分とは言えない	不登校等児童生徒への支援の充実	高	1
	特別支援教育の専門的な知識や教育力が不足し、切れ目ない支援体制構築が求められている	特別な支援を要する児童生徒への教育推進	中	2
	日本語指導体制の整備をさらに充実させるため、子どもや保護者の困り感への対応が必要である	外国につながる児童生徒への教育推進	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 将来の夢や目標をもって回答する児童生徒の割合	80.1 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	88.0	92.0	96.0	100 (R12)	%
(イ) 学校へ行くのは楽しいと回答した特別支援教育を受ける児童生徒の割合	- (R5)		92.5	95.0	97.5	100 (R12)	%
(ウ) 学校へ行くのは楽しいと回答した外国につながる児童生徒の割合	- (R5)		92.5	95.0	97.5	100 (R12)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
7 年度	R	824,253				
	7 年度	809,365				
8 年度	R	923,589				
	8 年度	906,774				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	10・1・3 生徒指導推進事業	指導課	2.95	75,983	85,359
2-1	10・1・3 特別支援教育推進事業	指導課	0.60	4,480	4,887
2-2	10・2・2及び10・3・2 小・中学校教育支援者配置事業	指導課	0.85	517,334	567,253
2-3	10・2・2及び10・3・2 小・中学校就学支援事業	学事課	2.08	196,129	235,295
2-4	10・1・3 私立学校等助成事業	教育総務課	0.10	5,359	4,047
3-1	10・1・3 外国につながる児童生徒への教育推進事業	指導課	0.40	24,968	26,748
合計			6.98	824,253	923,589

7 R8事業費の分析 (差額＝「R8年度当初予算額」－「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む		
差額	分析	
8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的 要因	・外的な要因による影響は あったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	② 特別なニーズに対応した教育の充実

事業の概要			
戦略	1 不登校等児童生徒への支援の充実	予算 85,359 千円	前年度 75,983 千円
事務事業	1-1 生徒指導推進事業	予算 85,359 千円	前年度 75,983 千円

内容

1-1_生徒指導の推進

① 校内特別支援教室の設置（585 千円（前年度 565 千円））

不登校等児童生徒の社会的自立を促すために、校内特別支援教室（スペシャルサポートルーム）を設置する。

【活動指標】

校内特別支援教室の設置：小学校 12校（R7年度：12校）
中学校 5校（R7年度：5校）

○校内特別支援教室の設置校

	小学校		中学校			
	市	計	市	計	県	計
R 4	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小	5校	黒瀬中・中央中・西条中	3校	八本松中・高屋中 向陽中・高美が丘中	4校
R 5	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小 龍王小	6校	黒瀬中・中央中・西条中 八本松中	4校	高屋中・向陽中 高美が丘中・磯松中	4校
R 6	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小 龍王小・八本松小・寺西小 東西条小	9校	黒瀬中・中央中 八本松中	3校	高屋中・向陽中 高美が丘中・磯松中 西条中・松賀中	6校
R 7	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小 龍王小・八本松小 東西条小・御蔭宇小 河内小(中)・福富小(中) 志和小(中)	12校	黒瀬中・中央中 河内中(小) 福富中(小) 志和中(小)	5校	高屋中・向陽中 高美が丘中・磯松中 西条中・松賀中 八本松中・安芸津中 寺西小	9校
R 8 (予定)	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小 龍王小・八本松小 東西条小・御蔭宇小 河内小(中)・福富小(中) 志和小(中)	12校	黒瀬中・中央中 河内中(小) 福富中(小) 志和中(小)	5校	高屋中・向陽中 高美が丘中・磯松中 西条中・松賀中 八本松中・安芸津中 寺西小	9校

○不登校児童生徒数及び校内特別支援教室の利用児童生徒数

		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (12月末)
		不登校児童生徒数	小学校	105人	163人	271人
	中学校	202人	283人	354人	341人	280人
	計	307人	446人	625人	634人	499人
校内特別支援教室 利用児童生徒数	小学校	46人	79人	93人	66人	101人
	中学校	72人	63人	71人	116人	55人
	計	118人	142人	164人	182人	156人

※ 「校内特別支援教室利用児童生徒数」とは、一度でも利用したことのある児童生徒数をいう。

事業の概要

② 不登校等支援員の配置 (13,583 千円 (前年度 14,844 千円))

不登校等児童生徒に対して個別の支援を行い、不登校等児童生徒の状況を改善するため、小中学校の校内特別支援教室に不登校等支援員を配置する。

【配置数】

不登校等支援員の配置：4校（小学校2校、中学校2校）

③ 心のサポーターの配置 (33,671 千円 (前年度 30,078 千円))

児童生徒、保護者及び教職員の抱える悩みへの相談など教育相談体制の充実を図るため、小中学校に心のサポーターを配置する。

【活動指標】

心のサポーターの配置：20, 140時間

(R7年度：19, 030時間)

○心のサポーターの配置校数

		1週あたりの勤務日数	校数
R8 (予定)	小学校	隔週1日～毎週1日 (各日4時間)	22校
	中学校	毎週2日～3日 (各日4時間)	11校
	小・中市SSR設置校 (不登校等支援員配置校は除く)	毎週5日 (各日6時間)	13校

【拡】④ スクールソーシャルワーカーの派遣 (17,962 千円 (前年度 11,858 千円))

学校・家庭・関係機関等のネットワークを構築し、児童生徒の自立に向けた支援を行うために、スクールソーシャルワーカーを派遣する。

【活動指標】

派遣時間：3, 500時間 (R7年度：2, 862時間)

○スクールソーシャルワーカーの配置状況

	市 (派遣型)	県 (配置型)	
	人数	人数	配置校
R4	6人	4人	八本松中・高屋中・黒瀬中・松賀中
R5	5人	6人	八本松中・高屋中・黒瀬中・松賀中 高美が丘中・磯松中
R6	5人	7人	八本松中・高屋中・黒瀬中・松賀中 高美が丘中・磯松中・西条中
R7	6人	7人	八本松中・高屋中・黒瀬中・松賀中 中央中・磯松中・西条中
R8 (予定)	6人	7人	八本松中・高屋中・黒瀬中・松賀中 中央中・磯松中・西条中

※ 県のスクールソーシャルワーカーは配置型で、配置校の中学校区を担当している。今後、全ての中学校区に配置できるように継続的に県教育委員会に要望する。

※ 市のSSWは派遣型で、学校だけでは解決が困難なケースの場合に、必要に応じて市から学校に派遣している。今後、支援の状況等に応じて、計画的に派遣時間を拡充する。

事業の概要

○市スクールソーシャルワーカーの活動実績

	連携回数	連携時間	対象者数 (実人数)	対象者数 (延べ数)
R 2	1,592回	1,431時間	106人	2,258人
R 3	3,010回	2,239時間	114人	3,821人
R 4	2,350回	2,296時間	117人	3,202人
R 5	1,614回	2,413時間	101人	2,453人
R 6	1,891回	2,912時間	127人	3,334人
R 7(12月末)	1,821回	2,520時間	119人	3,419人

- ⑤ 校外教育支援センターの設置（12,802 千円（前年度 12,260 千円））
不登校等児童生徒の社会的自立を支援するために、学習指導や体験活動を行う校外教育支援センター（フレンドスペース）を設置する。
【設置数】
校外教育支援センターの設置：3 地域（西条・黒瀬・豊栄）
- ⑥ スクールガード・リーダーの派遣（587 千円（前年度 520 千円））
学校の防犯や非行防止に関する取組の充実を図るために、全ての幼稚園・小中学校にスクールガード・リーダーを派遣する。
【活動指標】
スクールガード・リーダーの派遣：4 8 回
- ⑦ 学校安全ボランティアの配置（175 千円（前年度 171 千円））
児童生徒の通学の安全を高めるために、登録した学校安全ボランティアに見守りを依頼する。
【活動指標】
学校安全ボランティアの登録：約 1 3, 0 0 0 人
- ⑧ 生徒指導教育研究実践校の指定（378 千円（前年度 373 千円））
学校における生徒指導に係る取組の充実を図るために、生徒指導教育研究実践校を指定する。
【活動指標】
生徒指導教育研究実践校の指定：1 校
- ⑨ 生徒指導主事等研修の実施（89 千円（前年度 70 千円））
生徒指導上の諸課題の未然防止及び対応に係る研修を通して、生徒指導主事等としての資質・能力の向上を図る。
【活動指標】
生徒指導主事等研修の実施：1 回
- ⑩ いじめ防止に向けた取組の支援（1,059 千円（前年度 1,059 千円））
各小中学校におけるいじめ防止に向けた児童生徒による主体的な活動やいじめの再発防止に係る取組を支援する。また、いじめ防止対策推進法（平

事業の概要

成25年法律第71号)第28条第1項に係る調査を行うためのいじめ問題調査委員会を設置する。

【活動指標】

いじめ防止に向けた取組の支援：20校

⑪ 生徒指導アドバイザーの配置(3,794千円(前年度3,554千円))

複雑化、多様化する生徒指導上の諸課題に対し、市全体の生徒指導体制の充実を図るために、指導課に生徒指導アドバイザーを配置する。

【配置数】

生徒指導アドバイザーの配置：1人

事業の概要			
戦略	2	特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 811,482 千円 前年度 723,302 千円
事務事業	2-1	特別支援教育推進事業	予算 4,887 千円 前年度 4,480 千円
内容			
2-1_特別支援教育の推進			
<p>① 手話通訳者・要約筆記者の派遣（112 千円（前年度 145 千円）） 学校からの情報を確実に保護者に提供するために、手話通訳者や要約筆記者を派遣する。</p> <p>【活動指標】 手話通訳者及び要約筆記者の派遣：30回</p> <p>② 巡回相談の実施（130 千円（前年度 130 千円）） 発達障がいのある児童生徒の理解と指導や支援の向上を図るために、特別支援教育の専門家による巡回相談を実施する。</p> <p>【活動指標】 巡回相談員の派遣：15回</p> <p>③ 教育支援委員会の開催（212 千円（前年度 212 千円）） 障がいのある幼児児童生徒に対し、その能力及び特性に応じた適切な教育を行うために、教育支援委員会を設置し開催する。</p> <p>【活動指標】 教育支援委員会の開催：5回</p> <p>④ 特別支援教育担当者研修の実施（40 千円（前年度 54 千円）） 特別支援教育の専門性を高め、指導力を向上させるために、特別支援教育担当者を対象とした研修を実施する。</p> <p>【活動指標】 通級指導担当教員連絡協議会の実施：1回 特別支援教育担当者等研修の実施：2回</p> <p>⑤ 特別支援教育相談員の配置（3,784 千円（前年度 3,549 千円）） 障がいのある幼児児童生徒の教育相談及び教育支援委員会に係る業務を充実させるために、特別支援教育相談員を配置する。</p> <p>【配置数】 特別支援教育相談員の配置：1人</p> <p>⑥ 特別支援教材教具制作の支援（408 千円（前年度 300 千円）） 特別支援学級や通級指導教室の学習活動の充実を図るために、教材や教具の開発等に向けた取組への支援を実施する。</p> <p>【活動指標】 特別支援教育を充実させるための教材教具制作の支援：</p>			

事業の概要

特別支援学級 164学級


通級指導教室 40教室（設置27教室、巡回13教室）

【拡】⑦ 医療的ケア児等への移動支援（201千円（前年度90千円））

医療的ケアが必要な児童生徒や、長時間の歩行が困難な児童生徒の校外学習等に係り、介護タクシー等の負担を支援する。

事業の概要					
戦略	2	特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 811,482 千円	前年度 723,302 千円	
事務事業	2-2	小・中学校教育支援者配置事業	予算 567,253 千円	前年度 517,334 千円	
内容					
2-2_小・中学校教育支援者の配置					
【拡】① 教育補助員の配置（401,396 千円（前年度 363,565 千円））					
特別支援学級に在籍する児童生徒の学習や生活の支援を行い、特別支援学級の円滑な運営を図るために、教育補助員を配置する。					
【配置数】					
教育補助員の配置：小学校 25 校 72 人（R8 年 1 月実績：70 人）					
中学校 10 校 31 人（R8 年 1 月実績：30 人）					
○小学校の特別支援学級数と在籍者数			○中学校の特別支援学級数と在籍者数		
	学級数	在籍者数		学級数	在籍者数
R5	93 学級	443 人	R5	40 学級	158 人
R6	101 学級	495 人	R6	39 学級	178 人
R7	109 学級	542 人	R7	44 学級	207 人
R8(想定)	118 学級	600 人	R8(想定)	46 学級	226 人
② 学校教育支援員の配置（157,337 千円（前年度 145,883 千円））					
通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒に対応するために、学校教育支援員を配置する。					
【配置数】					
学校教育支援員の配置：小学校 30 校 30 人（R8 年 1 月実績：30 人）					
中学校 11 校 14 人（R8 年 1 月実績：14 人）					
③ 特別支援教育サポーターの派遣（8,520 千円（前年度 7,886 千円））					
通常の学級や特別支援学級に在籍する発達障がいのある児童生徒の学習支援等を行うために、特別支援教育サポーターを派遣する。					
【活動指標】					
特別支援教育サポーターの派遣：7,040 時間					
（R7 年度：7,040 時間）					

事業の概要			
戦略	2	特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 811,482 千円 前年度 723,302 千円
事務事業	2-3	小・中学校就学支援事業	予算 235,295 千円 前年度 196,129 千円
内容			
2-3_小・中学校の就学支援（235,295 千円（前年度 196,129 千円））			
① 経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者への学用品費等の支給			
② 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者への学用品費等の支給			

事業の概要			
戦略	2	特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 811,482 千円 前年度 723,302 千円
事務事業	2-4	私立学校等助成事業	予算 4,047 千円 前年度 5,359 千円
内容			
2-4_私立学校等への助成			
① 賀茂高等学校定時制後援会への補助金交付（180 千円（前年度 200 千円））			
【補助内容】			
講演会の開催、部活動全国大会遠征等に要する経費を支援する。			
② 近畿大学附属広島高等学校東広島校及び呉武田学園武田高等学校への補助金交付（1,617 千円（前年度 1,881 千円））			
【補助内容】			
教材費、教育研究機器などの購入に要する経費を支援する。			
③ 賀茂北高等学校の活性化に係る補助金交付（2,000 千円（前年度 3,000 千円））			
【補助内容】			
県央の進学先である賀茂北高等学校の魅力向上への支援として地域が運営する生徒の自学自習の場での資格取得講座の受講等に要する費用を補助する。			
			
自学自習の場「稲葉塾」で勉強する生徒の様子			

事業の概要				
戦略	3	外国につながる児童生徒への教育推進	予算 26,748 千円	前年度 24,968 千円
事務事業	3-1	外国につながる児童生徒への教育推進事業	予算 26,748 千円	前年度 24,968 千円
内容				
3-1_外国につながる児童生徒への教育推進				
① 日本語指導拠点校の設置 (18,289 千円 (前年度 16,924 千円))				
日本語指導に係る研究を推進するために、日本語指導拠点校を設置する。また、外国につながる児童生徒への支援を充実させるために、学校教育支援員を配置する。				
【設置数】				
日本語指導拠点校の設置：1校				
【配置数】				
学校教育支援員の配置：5人				
② 日本語初期指導教室指導員の派遣 (6,421 千円 (前年度 6,129 円))				
来日して間もない児童生徒に学校生活や日本語に係る指導を行い、学校への早期適応を図るために、日本語初期指導教室へ指導員を派遣する。				
【派遣数】				
日本語初期指導教室指導員の派遣：3人				
○日本語指導が必要な児童生徒数				
	R 4	R 5	R 6	R 7
小学校	151人	171人	177人	223人
中学校	35人	29人	28人	39人
計	186人	200人	205人	262人
○日本語初期指導教室への入級児童生徒数				
	R 4	R 5	R 6	R 7 (12月末)
小学校	39人	26人	47人	34人
中学校	10人	8人	13人	9人
計	49人	34人	60人	43人
③ 通訳者・支援員の派遣 (397 千円 (前年度 377 千円))				
日本語の理解が十分でない児童生徒や保護者に対し、学校生活への適応等の支援を行うために、通訳者や支援員を派遣する。				
【活動指標】				
通訳者・支援員の派遣：90回				
④ 日本語指導担当者等研修の実施 (33 千円 (前年度 33 千円))				
外国につながる児童生徒への理解や日本語指導の指導力向上を図るために、日本語指導学級や該当児童生徒の学級担任を対象に研修を実施する。				
【活動指標】				
日本語指導担当者等研修の実施：1回				

事業の概要

⑤ 日本語指導コーディネーターの配置（1,608千円（前年度1,505千円））

日本語初期指導教室に係る連絡調整、通訳者・支援員の派遣、大学等との連携などを専門的に担当し、市全体の日本語指導体制の充実を図るために、指導課に日本語指導コーディネーターを配置する。

【配置数】

日本語指導コーディネーターの配置：1人

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性を持った人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童生徒の割合	小学校10.8% 中学校17.6%	小学校12.7% 中学校23.4%	小学校10% 中学校17%
	不登校児童生徒のうち、専門的な相談を受けた割合	小学校53.1% 中学校48.6%	小学校61.4% 中学校56.9%	小学校・中学校 100%
	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の仕組みを活かして、保護者や地域との協働による活動を行った学校の割合	小学校68.7% 中学校60.0%	小学校95.0% 中学校77.7%	小学校79% 中学校67%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり	主管部局・所属	生涯学習部 青少年育成課
関係部局・所属			

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	地域の中に青少年が主体性と創造性をもった人間として成長し、活動できる環境が整っている	現状	子どもと地域の大人との人間関係が希薄化するとともに子どもの体験活動が減少している	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	子どもに係る地域活動の担い手や地域と学校、家庭を繋ぐネットワークがない	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進	中	1
	子どもと地域住民とのつながりや、地域で子どもが活動できる場が求められている	青少年が安心して主体的に活動できる環境づくり	中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 放課後子供教室の教室数	16 (R6)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	18	20	22	24 (R10)	教室
(4) 異年齢交流・体験活動の年間実施数	12 (R5)		20	20	20	20 (R10)	回
(7)							

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	
R7年度		26,168				
		20,642				
R8年度		28,286				
		23,286				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	10・5・1 地域学校協働活動推進事業	青少年育成課	1.00	11,767	12,670
2-1	10・5・1 青少年健全育成事業	青少年育成課	0.90	12,300	13,519
2-2	10・5・1 青少年健全育成団体支援事業	青少年育成課	0.60	2,101	2,097
合計			2.50	26,168	28,286

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。			
差額		分析	
8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析視点	分析内容	
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か		
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い		
効率性	・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か (直営・委託等)	決算時記載	
外的要因	・外的な要因による影響は あったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり

事業の概要			
戦略	1 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進	予算 12,670 千円	前年度 11,767 千円
事務事業	1-1 地域学校協働活動推進事業	予算 12,670 千円	前年度 11,767 千円

内容

1-1_地域学校協働活動の推進

① 地域学校協働活動体制の構築 (1,988 千円 (前年度 2,005 千円))

地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員や学校関係者に対し、研修等を通じて必要な情報提供、助言を行い、学校支援活動やこどもまんなかの居場所づくりを推進する。

【活動指標】

地域学校協働活動推進員の活動時間：1,350 時間

【主な地域学校協働活動の内容】

あいさつ・声かけ・見守り活動、環境美化活動、自生地の保全活動、多様な体験学習（収穫体験・郷土学習・環境教室・防災教室・水辺教室など）

② 放課後子供教室の実施 (10,682 千円 (前年度 9,762 千円))

高校生や大学生も含めた幅広い地域住民が参画し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるとともに地域の交流を促進する。

【活動指標】

教室スタッフの活動時間：8,350 時間



けん玉遊び



七夕飾りづくり



芋ほり



かるた遊び

事業の概要				
戦略	2	青少年が安心して主体的に活動できる環境づくり	予算 15,616 千円	前年度 14,401 千円
事務事業	2-1	青少年健全育成事業	予算 13,519 千円	前年度 12,300 千円

内容

2-1_青少年健全育成を支える環境づくり

① 交流と体験を通じた学びの充実 (2,518 千円 (前年度 1,587 千円))

【拡】ア 地域まるごと探求ラボの展開 (うち 2,252 千円)

社会教育士によるマネジメントのもと、ファシリテーターが中高生の主体的な活動に対して助言を行う。

中高生が主体的に地域活動に参加するようになり、こどもまんなかの居場所 (BB ベース) づくりの一環である「地域まるごと子どもの居場所」づくりの担い手に成長していくことを目指していく。

- ・中高生によるイベント企画等挑戦講座の実施
- ・中高生によるイベント企画等挑戦講座の卒業生の活動への助言 (地域の商店・団体・企業などの紹介など)



【活動指標】

中高生によるイベント企画等挑戦講座の参加者数：30 人

事業の概要

イ ボランティア活動や学校外の活動への参加のきっかけづくり

(うち 266 千円)

「まずはやってみる」ことに重点を置き学校外活動への参加のきっかけをつくることで、主体的・協働的な活動（地域まるごと探求ラボの講座等）への参画意欲を高める。

- ・チームで行うボランティア活動講座の実施

異年齢で構成されるチームでボランティア活動に参加するコース

- ・個人参加型の体験活動の紹介

自分の興味関心のある体験活動に参加するコース（市が実施・紹介する青少年向けのイベントや講座等）

【活動指標】

「チームで行うボランティア活動講座」及び「個人参加型の体験活動」の参加者数：60 人

② 地域の安全・安心の推進（2,163 千円（前年度 2,488 千円）

青少年指導員による駅前や商業施設等を中心とした市内各地域の巡回により、青少年への声かけ活動や補導・指導などの街頭補導活動を行うとともに、青少年の健全育成関係機関との連携を図る。

【活動指標】

回数：1,200 回



青少年指導員連絡協議会

③ 児童青少年総合相談室の開設（8,509 千円（前年度 7,996 千円）

保護者等の多様な教育相談のニーズに対応するために、児童青少年総合相談室を開設する。

教育相談員：週 4 日（水、木、土、日曜日）

10：30～12：00 13：00～16：30

カウンセラー：週 2 日（火、金曜日）

13：00～16：00

児童厚生員：週 5 日（月、火、水、木、日曜日）

10：30～12：00 13：00～16：30

事業の概要				
戦略	2	青少年が安心して主体的に活動できる環境づくり	予算 15,616 千円	前年度 14,401 千円
事務事業	2-2	青少年健全育成団体支援事業	予算 2,097 千円	前年度 2,101 千円
内容				
2-2_青少年健全育成団体の支援				
<p>① 青少年健全育成団体への運営支援（2,097 千円（前年度 2,101 千円））</p> <p>青少年が豊かな創造力と自主性を持った社会の一員となるよう、青少年健全育成の活動団体へ運営支援を行う。</p> <p>ア 青少年育成東広島市民会議（うち 1,210 千円）</p> <p>国・県・市の施策に呼応して次代を担う青少年の非行防止や健全育成を目的として、研修会や講演会、巡回指導、各種啓発活動を行う当該団体に対して助成を行う。</p>				
				
あいさつ・声かけ運動				
<p>イ “社会を明るくする運動” 東広島推進委員会（うち 513 千円）</p> <p>青少年健全育成活動及び更生保護活動によって犯罪の未然防止や罪を犯した人たちの更生に理解を深めることを目的として、各種啓発活動を実施する当該団体に対して助成を行う。</p>				
				
推進大会				
<p>ウ 東広島市女性連合会（うち 360 千円）</p> <p>女性の地位向上とともに、家庭教育青少年問題などの現代的な課題に取り組むとともに、各種啓発活動を実施する当該団体に対して助成を行う。</p>				

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成	
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	受講を通して、理系教科について興味・関心が高まったとする児童生徒の割合	92.9%	91.5%	95.0%
	青少年期の生涯学習パスポートのうち、まなぶちゃんの奨励者達成率	28.1%	27.7%	40%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 理系分野等の教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属			

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	理系分野への興味・関心を高める教育と実践的な機会が学校内外で提供され、児童生徒の理系分野への理解と自信が深まる	現状	理系分野への関心・意欲が高いとは言えず、持続可能な社会の創り手としての資質・能力の不足が懸念される	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
理系分野への魅力を強く感じられるような授業が十分に行えているとは言えない		子どもたちの理系分野への興味・関心醸成	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R7	R8	R9		
(7) 授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められていると回答する児童生徒の割合	84.6 (R5)	85.0	85.2	85.4	86.0 (R12)	%
(4) 理科の勉強は好きと回答する児童生徒の割合	77.7 (R5)	78.1	78.3	78.5	79.1 (R12)	%
(5)	()				()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	7年度		6,030			
			5,566			
	8年度		6,165			
			5,673			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	10・1・3 科学の芽育成事業	指導課	1.00	6,030	6,165
合計			1.00	6,030	6,165

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。	
差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)	
平均達成率	分析

9 取組の分析		
区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的 要因	・外的な要因による影響は あったのか。	

10 総合評価	
総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	4 新たな価値を創造する人材の育成	① 理系分野等の教育内容の充実

事業の概要						
戦略	1 子どもたちの理系分野への興味・関心醸成	予算 6,165 千円	前年度 6,030 千円			
事務事業	1-1 科学の芽育成事業	予算 6,165 千円	前年度 6,030 千円			
内容						
1-1_児童生徒の科学の芽育成						
① 科学の芽育成講座の実施 (4,685 千円 (前年度 4,636 千円))						
児童生徒の科学に対する興味・関心を高めるために、大学や企業が有する専門的知識や技術を活用し、出前講座を実施する。						
【活動指標】						
科学の芽育成講座の実施：70 学級						
○科学の芽育成講座の実績 (延べ数)						
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (12月末)
小学校	13校 26学級	10校 23学級	16校 38学級	25校 48学級	41校 89学級	38校 77学級
中学校	—	1校 1学級	6校 23学級	4校 10学級	9校 22学級	8校 18学級
計	13校 26学級	11校 24学級	22校 61学級	29校 58学級	50校 111学級	46校 95学級
② 理科観察実験アシスタントの配置 (1,480 千円 (前年度 1,394 千円))						
理科の授業における観察や実験を充実させるため、理科の専門性を有する大学院生等を理科観察実験アシスタントとして小学校に配置する。						
【配置数】						
理科観察実験アシスタントの配置：8人						

令和 8 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成	
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	受講を通して、理系教科について興味・関心が高まったとする児童生徒の割合	92.9%	91.5%	95.0%
	青少年期の生涯学習パスポートのうち、まなぶちゃんの奨励者達成率	28.1%	27.7%	40%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属	生涯学習部 文化課		

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	市内大学・試験研究機関等との連携により、子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実が図られている	現状	様々な理系分野や芸術体験等について子どもの興味・関心が徐々に高まっている		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
科学技術等に関する知識の普及や啓発を行う必要がある		子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実		中	1
実験や体験を通じて科学や文化への関心を喚起する必要がある		創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実		中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 生涯学習パスポートのうち、まなぶちゃんノートの奨励者の割合	28.1 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	34	36	37	40 (R12)	%
(1) どこでも美術館・博物館、歴史体験・芸術体験事業の満足度の割合	100.0 (R4)		100	100	100	100 (R10)	%
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 7 年度			4,267			
			4,267			
R 8 年度			3,110			
			3,110			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	10・5・2 豊かな学び創造事業	生涯学習課	0.37	288	272
2-1	10・5・2 文化芸術体験事業	文化課	0.40	3,979	2,838
合計			0.77	4,267	3,110

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。			
差額		分析	

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)			
平均達成率		分析	

9 取組の分析			
区分	分析視点	分析内容	
妥当性	・目的達成のために必要な対象、手段は適切か	決算時記載	
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している事業は無いか		
効率性	・コスト削減余地は無いか ・実施主体は適切か (直営・委託等)		
外的要因	・外的な要因による影響はあったのか。		

10 総合評価			
総合評価		<総評>	

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針
	→

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	4 新たな価値を創造する人材の育成	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実

事業の概要					
戦略	1	子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実	予算	272 千円	前年度 288 千円
事務事業	1-1	豊かな学び創造事業	予算	272 千円	前年度 288 千円

内容

1-1_豊かな学びの創造

① 宇宙科学講座 (272 千円 (前年度 288 千円))

座学や天体観測等を通して、宇宙科学技術への興味関心を高め、探求心を育むことを目的として、広島大学と連携・共催して宇宙や天体について学ぶ、「ひがしひろしまスペースクラブ」講座や東広島天文台観望会を実施する。

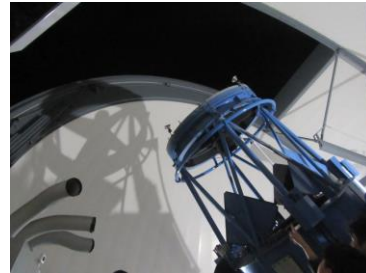
- ・対象 小学生以上
- ・場所 広島大学、東広島天文台ほか

【活動指標】

回数 16 回



ひがしひろしまスペースクラブ



東広島天文台

② 理系分野の講座

日常生活の中で、理系分野の学問がどのように活用され、生活を豊かにしているか等、こどもたちが理系分野への興味関心を高めることを目的に、文化・学習センター及び地域センター等を中心に実施する。

- ・対象 小学生・中学生
- ・場所 地域センターほか

【活動指標】

回数 60 回 (主催講座の回数を含める)

事業の概要				
戦略	2	創造性豊かな子供の育成につながる学びの充実	予算 2,838 千円	前年度 3,979 千円
事務事業	2-1	文化芸術体験事業	予算 2,838 千円	前年度 3,979 千円
内容				
2-1_文化芸術体験の振興				
① 文化芸術体験の振興 (2,523 千円 (前年度 3,742 千円))				
ア はじめてビジュツカン (うち 2,499 千円)				
市内の小学生を美術館に招待し、美術作品を鑑賞し、子どもたちの感性を養う機会を設ける。【事業団委託】				
【活動指標】				
対象 小学4年生：32校				
イ どこでも美術館 (うち 24 千円)				
美術館所蔵作品の図版等を活用した鑑賞教材を用いて、子どもたちが楽しんで作品を鑑賞する機会を提供する。【事業団委託】				
【活動指標】				
対象 市内小中学校：3校				
② 歴史体験の実施(315千円(前年度237千円))				
ア どこでも博物館 (うち 30 千円)				
出土文化財や民具等を学校に持参し、見て触ってその質感を体験することで歴史や文化・文化財への興味を醸成する。				
【活動指標】				
対象 市内小中学校：6校				
イ 親と子の体験歴史村 (うち 285 千円)				
勾玉作りや鏡作り等、親子で古代の人々の生活体験や施設見学をすることで、埋蔵文化財への興味と関心を高める。				
・対象 市内小学4～6年生とその保護者 (20組40人)				
【活動指標】				
回数 親と子の体験歴史村の実施：2回				
				
			美術館での作品鑑賞体験	
				
			アートカードを活用した授業	
				
			出土した土器に触れる体験	
				
			親子での勾玉作りの様子	

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	5 知的資源と国際性を活かした人づくり	
施策の将来の目標像	大学立地などの地域の特性を活かし、その知見を活かした教育が提供され、国際感覚を備え、高度な専門性を身に付けた人材が数多く育っています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	大学連携講座等の受講により、コミュニティ活動に取り組んでいこうとする人の割合	86%	79%	93%
	外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいと思う児童生徒の割合	小学校69.1% 中学校62.1%	小学校72.2% 中学校61.5%	小学校 80%以上 中学校 70%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 大学・企業等との連携による学びと国際教育の充実	主管部局・所属	学校教育部	指導課
関係部局・所属	生涯学習部	生涯学習課		

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	大学・企業等との連携により市民の学びが深まるとともに、外国に繋がる人との交流が広がり国際感覚が醸成される	現状	研究資源や高い専門性を持つ人材が「学び」に十分に活かせておらず、国際感覚の醸成も十分高まっているとは言えない		
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.	
	大学、試験研究機関及び企業等の知的資源を活用し、地域活動につながる学習機会の提供が必要である	大学や試験研究機関等との連携による学びの充実	高	1	
	小中学校において、国際性豊かな人材育成に向けた国際感覚の醸成が十分とは言えない	国際教育の充実	低	2	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 大学連携講座等の受講により、コミュニティ活動に取り組んで行こうとする人の割合	86 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	88	89	90	93 (R12)	%
(4) 外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいと思う児童生徒の割合	65.6 (R5)		70.0	72.0	73.0	75 (R12)	%
(5)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度			2,805			
			2,805			
R8年度			2,654			
			2,654			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	10・5・2 学びのキャンパス推進事業	生涯学習課	0.49	529	529
2-1	10・1・3 グローバルマインド育成事業	指導課	0.30	2,276	2,125
合計			0.79	2,805	2,654

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。		
差額	分析	
8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的要因	・外的な要因による影響は あったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題	課題を踏まえた今後の取組方針	
	→	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	5 知的資源と国際性を活かした人づくり	① 大学・企業等との連携による学びと国際教育の充実

事業の概要					
戦略	1 大学や試験研究機関等との連携による学びの充実	予算	529 千円	前年度	529 千円
事務事業	1-1 学びのキャンパス推進事業	予算	529 千円	前年度	529 千円

内容

1-1_大学と連携した学びの推進

① 「東広島学」講座を実施（84 千円（前年度 84 千円））

近畿大学と連携し、市民と大学生を対象に、市内の各分野で活躍する団体等を講師として、東広島を知り、東広島に愛着を持ってもらう講座を実施する。

【活動指標】

回数 15 回（連続講座）



観光ボランティア体験

② 「学んで輝くひと・まち塾」講座・「サマーカレッジ」の開催

（445 千円（前年度 445 千円））

広島国際大学と連携し、市民と大学生を対象に、大学等の専門的な内容の講義を分かりやすく提供する講座を実施する。

【活動指標】

回数 8 回

（連続講座、サマーカレッジ）



読み聞かせを学ぶ回

事業の概要						
戦略	2	国際教育の充実	予算	2,125千円	前年度	2,276千円
事務事業	2-1	グローバルマインド育成事業	予算	2,125千円	前年度	2,276千円
内容						
2-1_グローバルマインドの育成						
① 外国語活動協力者の派遣（2,125千円（前年度2,276千円））						
児童のグローバルマインドの涵養を図るために、小学校外国語活動の授業へ英語が堪能な地域に住む外国人等を外国語活動指導協力者として派遣する。						
【活動指標】						
外国語活動協力者の派遣時間：1,095時間						
（R7年度：1,155時間）						
【新】② 小中学校における国際教育の研究						
初等教育段階から、英語を通じたコミュニケーション能力を育成するとともに、自国の文化を尊重する中で、異文化理解を深め、多文化共生を図ることができるグローバル人材の育成を図る国際教育の在り方を研究する。						

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	生涯学習の満足度	53.9%	53.8%	100%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属			

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	市民が自ら生涯を通じて学び、活躍できる好循環が整っている	現状	市民が学んだ後、その成果を実践につなげる好循環が不十分である	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
地域課題解決に向けた講座を通じて、地域の学びを地域福祉や地域づくりにつなげる必要がある	豊かな学びの推進及び学びを通じたつながりの推進		高	1
生涯学習施設の適正配置や計画的な修繕、保全管理に取り組む必要がある	学びを支える環境づくり(生涯学習施設)		中	2
地域課題の解決の場として、図書館に求められる多様な機能・ニーズに対応していく必要がある	市民の幸福と学びを支える環境づくり(図書館)		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 生涯学習センター・地域センター等における自主サークル数	668 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	720	730	740	750 (R10)	団体
(4) 図書館におけるレファレンス件数	6,771 (R5)		7,000	7,700	8,200	8,600 (R10)	件
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度		1,232,363				
		558,092				
R8年度		1,358,798				
		777,010				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	10・5・2 生涯学習活動推進事業	生涯学習課	3.40	75,895	112,105
2-1	10・5・2 生涯学習施設管理運営事業	生涯学習課	1.38	775,592	851,137
3-1	10・5・4 図書館管理運営事業	生涯学習課	3.45	380,876	395,556
合計			8.23	1,232,363	1,358,798

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。		
差額	分析	
8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的 要因	・外的な要因による影響は あったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題	課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備

事業の概要			
戦略	1 豊かな学びの推進と学びを通じたつながりの推進	予算 112,105 千円	前年度 75,895 千円
事務事業	1-1 生涯学習活動推進事業	予算 112,105 千円	前年度 75,895 千円
内容			
1-1_生涯学習活動の推進			
<p>地域課題の解決につながる学習機会の充実や、主体的な学び及び地域資源を活かした生涯学習を促進することにより、多様な学習機会の充実と学習成果の活用を図る。</p> <p>① 地域の学びの推進（98,114 千円（前年度 61,051 千円））</p> <p>ア 地域センター事務職員の配置（うち 88,017 千円） 生涯学習活動の企画運営を担う地域センター事務職員を配置し、地域の学びの推進体制を強化する。</p> <p>イ 主催講座の開催（うち 8,770 千円） 地域センター等において地域で抱える課題解決につながるための学習機会として講座を開催する。</p> <p>【活動指標】 主催講座の回数 3,000 回</p> <p>ウ 社会教育関係等研修会の開催（うち 1,327 千円） 地域センター事務職員等を対象に、東広島市教育文化振興事業団や関係機関と連携し、生涯学習人材の育成を目的とした研修等を実施し、社会教育を推進する上で必要な知識を深め、技能等の向上を図る。</p> <p>【活動指標】 研修会等の開催 18 回</p> <p>② 地域の課題解決に資する講座等の充実（666 千円（前年度 567 千円））</p> <p>【新】ア 連携・協働による講座等の充実（うち 366 千円） 生涯学習分野における様々なテーマの中で、関係性の高い事業を実施する部署間で連携を図ることにより、業務改善や相乗効果を高めることを目的として、令和 8 年度においては、「子ども向け講座」、「親子向け講座」「多文化共生社会に向けた取組」、「男女共同参画関連の研修」の 4 事業について、充実を図る。</p> <p>【活動指標】 取組件数 4 件</p>			



主催講座

事業の概要

イ 出前講座の実施（うち 300 千円）

市民団体等の求めに応じて、市または協力機関（公的機関・団体）の職員等が講師となり、地域へ出向き講座を実施する。

【活動指標】

出前講座の回数 350 回

③ 発表・学びの場（8,361 千円（前年度 9,542 千円））

【新】ア 地域共生社会の実現に向けたイベントの開催（うち 5,979 千円）

地域共生社会の実現に向けて、今まで実施してきた「生涯学習フェスティバル」と「健康福祉まつり」を統合し、新たなイベントとして開催する。

関係機関の連携を強化することによりイベントの質を高め、世代や分野を超えた市民の交流を通じて、互いに支え合える地域社会の形成を促進し、市民一人ひとりのウェルビーイングの向上を目指す。

【活動指標】

来場者数 4,500 人



くらら（こもれび広場）



屋外会場

イ 生涯学習パスポートの活用（うち 2,382 千円）

(ア) 【大人版】生涯学習パスポート

自らの生涯学習を記録することで、市民の学習意欲の向上や学習成果の活用につなげるため、高校生以上を対象に発行する。

(イ) 【子ども版】まなぶちゃんノート、ジュニアパスポート

学んだことを急に実践することは難しいため、まず子どもの時期に、様々な体験をし、体験の中で自分が主体的に学び続けることができるものを見つけるため、まなぶちゃんノート（小学生用）、ジュニアパスポート（中学生用）を発行する。

④ 人権に関する学習機会の充実（4,149 千円（前年度 3,920 千円））

ア 社会教育指導員の配置（うち 3,711 千円）

地域センター等において人権教育を推進するため、引き続き社会教育指導員を配置する。

イ 人権講座の開催（うち 378 千円）

地域センター等において人権尊重の理念が日常生活に根付くように多様な学習機会の充実を図る。

【活動指標】

人権講座の回数 60 回

ウ 人権教育研修会の開催（うち 60 千円）

地域センター事務職員等を対象に、人権教育研修会を開催し、講座の実施に係る必要な知識を深め、技能等の向上を図る。

【活動指標】

研修会等の開催 2 回

⑤ 家庭教育支援（528 千円（前年度 528 千円））

ア 「親の力」をまなびあう学習プログラム等の開催（うち 293 千円）

保護者をはじめ、あらゆる人がそれぞれの立場で「おのずから気づき、学ぶことができる力」を身につける。



「親の力」をまなびあう学習プログラム

【活動指標】

講座の回数 40 回

イ ブックデビュー推進講座等の開催（うち 235 千円）

妊娠期からのことばがけの大切さや親子のコミュニケーションの重要性を伝える。



ブックデビュー推進講座

【活動指標】

講座の回数 40 回

⑥ 負担金（287 千円（前年度 287 千円））

ア 社会教育関係機関への負担金（うち 287 千円）


広島県公民館連合会への加盟に要する経費及び総会や研修会への参加費を負担する。

【廃】 集合型オンライン講座（前年度 215 千円）

これまで3年間実施したことにより、一定の成果を得たことや、講座の新たな実施手法として体系化できたため、令和7年度をもって、廃止する。

【廃】 生涯学習フェスティバルの開催（前年度 7,399 千円）

地域共生社会の実現に向けて、地域の学びが地域福祉、地域づくりにつながることを目的に、新たなイベントに移行するため、令和7年度をもって、廃止する。

事業の概要			
戦略	2 学びを支える環境づくり (生涯学習施設)	予算 851,137 千円	前年度 775,592 千円
事務事業	2-1 生涯学習施設管理運営事業	予算 851,137 千円	前年度 775,592 千円
内容			
2-1_生涯学習施設の管理運営			
<p>市民文化センター（指定管理）、黒瀬生涯学習センター（指定管理）、豊栄生涯学習センター（指定管理）、安芸津生涯学習センター（指定管理）、創作村、天文台広場敷地、視聴覚ライブラリー等の管理運営を行う。</p> <p>① 文化・学習センター等の管理運営（851,137 千円（前年度 775,592 千円））</p> <p>ア 文化・学習センターの管理運営（うち 261,459 千円）</p> <p>【対象施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全 4 施設 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>市民文化センター、黒瀬生涯学習センター、豊栄生涯学習センター、安芸津生涯学習センター</p> </div> <p>【指定管理者】 市教育文化振興事業団</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化・学習センターにおける主催学習の実施（分野横断的な主催講座） ・生涯学習に関するコーディネートと伴走支援（学びと地域活動の接続） ・市と連携した研修・学習支援（地域センター主催講座づくりの支援） ・ホール等を活用した地域文化活動の振興（地域文化活動振興） ・子どもの居場所づくりの推進（地域まるごと子どもの居場所づくり） ・市民主体による生涯学習の企画・実施（市民企画講座） ・地域活動人材の交流・連携促進（ボランティア交流会等） <p>イ 黒瀬生涯学習センター長寿命化改修工事（うち 561,018 千円）</p> <p>昨年度に引き続き、黒瀬生涯学習センターの長寿命化改修工事行う。</p> <p>【主な改修内容】</p> <p>トイレの洋式化、屋根外壁の防水、照明設備の LED 化等</p> <p>【スケジュール】</p> <p>R7.8 月～R8.4 月 改修工事予定</p> <div style="text-align: center;">  <p>黒瀬生涯学習センター</p> </div> <p>ウ 創作村、天文台広場敷地の管理ほか（うち 28,660 千円）</p> <p>市直営施設である創作村及び天文台広場敷地等の管理を行うとともに、文化・学習センター施設の維持管理における修繕等を行う。</p>			

事業の概要				
戦略	3	市民の幸福と学びを支える環境づくり（図書館）	予算 395,556 千円	前年度 380,876 千円
事務事業	3-1	図書館管理運営事業	予算 395,556 千円	前年度 380,876 千円

内容

3-1_図書館等の管理運営

従来の貸出返却やレファレンス（調査相談）に加え、教育機会の豊かさ、快適な居場所、交流の場、地域とつながる場など、図書館等に求められる多様な機能・ニーズへ対応し、市民の幸福と学びを支える公共空間を目指した管理運営を行う。

コンセプト

Well-being Library

-市民の幸福と学びを支える公共空間-

Well-being Library に求められる多様な機能・ニーズ

(参考) 主な Well-being 因子

・教育機会の豊かさ・自己効力感・多様性と寛容性・地域とのつながり・健康状態

運営の方向性

①教育機会を豊かにする図書館

- ・生涯学習の推進
- ・読書の価値の向上
- ・自己探求の支援

②快適な居場所となる図書館

- ・誰でも気軽に使える場の確保
- ・静かな空間の醸成
- ・くつろぎの創出

③交流の場となる図書館

- ・多様な主体との連携
- ・人と人がつながる場の創出
- ・多文化共生の促進

④地域とつながる図書館

- ・地域文化の振興
- ・郷土資料の保存
- ・まちづくり活動の展開

① 特色ある図書館づくり（19,965 千円（前年度 44,766 千円））

ア サンスクエア児童青少年図書館の改修

サンスクエア児童青少年図書館内の照明のLED化を行うとともに、利用者ニーズに応じたゾーニングの見直しを図り、視聴覚ブースの縮小及び自習・閲覧スペースの増設を行う。



従来の視聴覚スペース



閲覧・自習スペース等への活用

事業の概要

【拡】② 指定管理者による管理運営（353,377千円（前年度314,038千円））

【対象施設】

- ・市立図書館全8施設

中央図書館(移動図書館、電子図書館、志和アグリ図書館)、
サンスクエア児童青少年図書館、高屋図書館、黒瀬図書館(移動図書館)、
福富図書館、豊栄図書館、河内こども図書館、安芸津図書館

- ・高屋情報ラウンジ「あったかや」

【指定管理者】シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社



東広島市立中央図書館



高屋情報ラウンジ「あったかや」

【活動指標】

- ・来館者数 650,000人
- ・多様なニーズに対応した講座等の開催回数 30回
(探求型共読会・生涯学習活動の成果発表会・地域を知る講座の開催)
- ・質の高いレファレンス件数 45件
(レファレンス協同データベース※での事例一般公開件数)

※レファレンス協同データベースは、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している調べものためのデータベース。



探求型共読会「ほんのれん」の開催

③ 図書館管理運営（22,214千円（前年度22,072千円））

図書館システム機器の管理や中央図書館等における修繕の実施のほか、図書館協議会等を開催する。

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が継承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	生涯学習の満足度	53.9%	53.8%	100%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承	主管部局・所属	生涯学習部	文化課
関係部局・所属				

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	東広島市の歴史・文化が継承され、市民の文化芸術活動が活性化されている	現状	文化芸術活動に関わる人材や関連事業への参加者に偏りが生じている	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
文化芸術の魅力に触れる機会の提供を増やす必要がある。	若い世代を含む芸術文化活動の活性化と創造		中	1
文化財に対する保護意識の高揚と公開の環境を整える必要がある。	文化財の保護と活用		中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 芸術施設(くらら、美術館)の若年層年間利用者数	32,217 (R4)	上段: 目標値 中段: 実績値 下段: 達成率	36,600	38,100	39,600	41,000 (R10)	人
(4) 博物館等施設の利用者満足度	82 (R4)		86	87	88	90 (R10)	%
(7) どこでも美術館・博物館、ユニークベニュー等により地域の文化芸術をつなげる事業の年間実施数	37 (R4)		47	50	53	57 (R10)	回

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度		715,665				
		529,390				
R8年度		874,163				
		521,649				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	10・5・1 芸術文化振興事業	文化課	2.31	373,856	324,317
1-2	10・5・3 美術館管理運営事業	文化課	1.69	228,729	239,723
2-1	10・5・5 文化財保存活用事業	文化課	3.27	32,309	46,375
2-2	10・5・5 文化財施設等整備事業	文化課	2.06	33,052	217,116
2-3	10・5・5 東広島市史編さん事業	文化課	6.45	20,617	19,061
2-4	10・5・5 埋蔵文化財調査事業	文化課	6.16	10,608	10,714
2-5	10・5・5 出土文化財管理活用事業	文化課	2.92	16,494	16,857
合計			24.86	715,665	874,163

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」)		※決算額には繰越を含む。	
差額	分析		
8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)			
平均達成率	分析		
9 取組の分析			
区分	分析視点	分析内容	
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載	
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している事業は無い		
効率性	・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か (直営・委託等)		
外的要因	・外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価	<総評>		
11 今後の課題及び取組方針			
課題	課題を踏まえた今後の取組方針		

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承

事業の概要			
戦略	1 若い世代を含む芸術文化活動の活性化と創造	予算 564,040 千円	前年度 602,585 千円
事務事業	1-1 芸術文化振興事業	予算 324,317 千円	前年度 373,856 千円
内容			
1-1_芸術文化の振興			
<p>① 芸術文化ホールの管理運営（312,868 千円（前年度 362,535 千円））</p> <p>ア 指定管理による芸術文化ホールの管理運営（うち 232,185 千円）</p> <p>基本理念に基づき、市民の芸術文化活動の拠点として、管理運営を実施する。</p> <p>(ア)「ふれる」（鑑賞・普及事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島交響楽団コンサート及びポップス系アーティストによる鑑賞事業の実施 <p>(イ)「そだてる」（育成・交流事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらはらダンスの日による市内のダンス活動団体の育成 ・くらはらフェス等による音楽活動団体の育成・交流 <p>(ウ)「つくる」（創造・発信事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアオーケストラ事業の実施 ・市民参加による舞台創造事業（オペラ）の実施 <p>(エ)「つなげる」（連携・情報事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストバンクやくらはらを利用するサークル等の情報発信 ・市立美術館等の文化施設との連携 <p>【活動指標】</p> <p>くらはら自主事業開催回数 80 回</p> <p>イ 芸術文化ホール特別公演事業の開催（うち 5,000 千円）</p> <p>芸術文化ホール開館 10 周年を記念して特別公演事業を開催する。</p> <p>ウ 芸術文化ホールの保全・修繕（うち 75,683 千円）</p> <p>芸術文化ホールの維持保全のため、長寿命化計画に基づき、修繕を行う。</p> <p>【主な修繕箇所】</p> <p>大小ホール照明設備、小ホール舞台床</p>			



芸術文化ホール(大ホール)

② 地域芸術の育成（11,449千円（前年度11,321千円））

ア 芸術文化活動の支援（うち3,320千円）

市民が主体的に行う各種文化事業の後援を行うとともに、東広島市文化連盟など活動団体等に助成を行う。

【活動指標】

芸術文化活動の支援 後援件数 130回



市民ミュージカル

イ 芸術文化活動の推進（うち8,129千円）

けんみん文化祭を開催し、市内芸術文化団体の発表の機会を提供する。また、芸術文化活動の推進について、アーツコンシェルジュによる相談業務を行い、市民の芸術文化活動の発表の場を創出することをサポートする。

(ア) けんみん文化祭地区フェスティバルの開催

東広島文化連盟と連携し、市内芸術文化団体や個人による舞台芸術や伝統芸能等、様々な表現活動の発表の機会を提供する。

- ・開催予定 令和8年9月6日(日) 黒瀬生涯学習センター

(イ) けんみん文化祭分野別フェスティバルの開催

県内各地域から推薦された芸術文化団体及び個人が特定の分野について発表する催しを開催する。

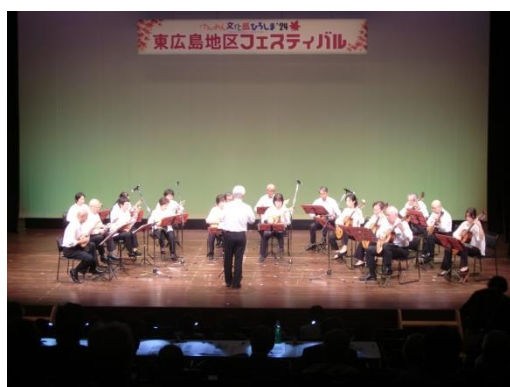
- ・開催予定 令和8年11月15日(日) 東広島芸術文化ホール

(ウ) 東広島アーツコンシェルジュ

芸術文化ホールくらら内に「東広島アーツコンシェルジュ」を設置し、芸術文化活動の相談を受け付け、芸術文化団体の運営上の課題解決等、様々な相談に対応し、市内芸術文化団体の育成、活性化に向けて支援を行う。

【活動指標】


コンシェルジュ業務相談 相談件数 100件



けんみん文化祭地区別フェスティバル



アーツコンシェルジュの活動

事業の概要			
戦略	1 若い世代を含む芸術文化活動の活性化と創造	予算 564,040 千円	前年度 602,585 千円
事務事業	1-2 美術館管理運営事業	予算 239,723 千円	前年度 228,729 千円
内容			
1-2_美術館の管理運営			
① 美術館の管理運営 (239,723 千円 (前年度 228,729 千円))			
ア 指定管理による美術館の管理運営 (うち 163,300 千円)			
指定管理により、美術館の維持管理及び常設展、企画展の運営を行う。			
(ア) 特別企画展の開催 (うち 43,490 千円)			
a かがくいひろしの世界展 (仮称) (うち 25,000 千円)			
絵本原画・制作資料とともに、貴重な映像記録や教材などから足跡を辿り、かがくいひろしの絵本の魅力を紹介する。			 <p>©Hiroshi Kagakui かがくいひろしの世界展</p>
会期：令和9年2月4日～3月28日 (予定) かがくいひろしの世界展 (仮称)			
b 舞台美術家・堀尾幸男展 (仮称) (うち 18,490 千円)			
日本を代表する舞台美術家・堀尾幸男 (広島県出身) が制作した舞台模型や資料、再現展示を行い舞台芸術の世界に迫る。			 <p>舞台美術家・堀尾幸男展 (仮称)</p>
会期：令和8年7月22日～10月4日 (予定)			
(イ) 東広島市美術展の開催 (うち 7,137 千円)			
東広島市美術展の開催により、美術愛好家の創作活動の振興を図る。			
【活動指標】			
東広島市美術展の応募数 一般部門 200 点・ジュニア部門 1,000 点			
			 <p>東広島市美術展</p>
(ウ) コレクション展 (うち 15,373 千円)			
展覧会毎にテーマを定め、美術館所蔵の作品をそのテーマに沿って選定し、紹介する。(3回実施予定)			
			 <p>コレクション展</p>
(エ) 指定管理による美術館の維持管理 (うち 97,300 千円)			
指定管理により、美術館の維持管理を行う。			

イ 美術館の運営（うち 46,546 千円）

(7) 学芸業務（うち 45,640 千円）【事業团委託】

美術館の各展覧会等の運営及び作品収集（購入、寄贈・寄託）、所蔵作品の調査研究を行う。

(1) 美術館管理（うち 906 千円）

美術館協議会等を開催する。

ウ 美術館の保全・修繕（うち 19,430 千円）

美術館の維持保全のため、長寿命化計画に基づき、修繕を行う。

【主な修繕箇所】




空調冷温水設備、電気温水器

エ 芸術文化振興基金への積立（うち 447 千円）

芸術文化振興基金へ利子を積み立てる。

オ 美術品購入（うち 10,000 千円）

美術館で収集する作品を購入する。

事業の概要				
戦略	2	文化財の保護と活用	予算 310,123 千円	前年度 113,080 千円
事務事業	2-1	文化財保存活用事業	予算 46,375 千円	前年度 32,309 千円
内容				
2-1_文化財の保存及び活用				
令和7年7月に文化庁の認定を受けた「東広島市文化財保存活用地域計画」に基づき、当該計画の理解を深め、地域総がかりで文化財の保存と活用に取り組む。				
【文化財保存活用地域計画の概要】				
計画期間 令和7年度～令和16年度				
将来像 歴史文化の豊かな“みのり”に親しみ 未来を紡ぐまち 東広島				
方向性 ① 歴史文化の調査を進め、保護・継承の足掛かりを築く（調査・研究） ② 市民とともに東広島の文化財を守り、継承する（保存・管理） ③ 歴史文化を知り、歴史文化に親しむ（普及・活用・学習） ④ 文化財を守り、伝えるための体制を整備する（組織・体制）				
① 文化財の保護（14,160千円（前年度4,882千円））				
ア 西条酒蔵通り地区の保全（うち12,650千円）				
【新】(7) 史跡西条酒蔵群保存活用計画の策定（うち12,300千円）				
西条酒蔵群の適切な保存活用と企業活動の両立を図り、西条酒蔵群全体の史跡化へ向け、保存活用計画を策定する。				
【計画対象】 史跡西条酒蔵群4件及び今後史跡化を目指す8件				
令和8年度	個々の文化財の保存状態等を調査し、現状と課題を整理			
令和9年度	酒蔵群全体の保存・活用方針や現状変更基準を作成			
				
史跡西条酒蔵群 (賀茂鶴西造1号蔵)		史跡西条酒蔵群 (旧広島県醸造試験場)		
(イ) 伝統的建造物群保存地区推進（うち350千円）				
伝統的建造物群保存地区保存審議会において、伝統的建造物等の保存と活用に係る審議、協議等を行う。				
				
西条酒蔵通り地区（くぐり門）				

事業の概要

イ 文化財の基礎調査（うち 990 千円）

把握が不十分な文化財について、悉皆的な調査を行い、実態の把握を進める。

令和 8 年度の予定の調査

- 社寺建築（旧町を中心に）
- 近代和風建築



調査風景

ウ 文化財の指定・登録（うち 520 千円）

文化財の保存活用に関する諮問機関である文化財保護審議会を開催するほか、市内各種文化財のうち、重要なものについて調査・審議を行い、指定・登録の保護措置を行う。



市史跡 曾場が城跡



国登録有形文化財 伊原惣十郎家住宅主屋

② 文化財の活用と管理（32,215 千円（前年度 27,427 千円）

ア 文化財の公開と活用（うち 7,716 千円）

(7) 旧木原家住宅・旧石井家住宅等の公開（うち 6,442 千円）

旧木原家住宅、旧石井家住宅などの貴重な文化財の維持管理及び公開活用を行う。



重文 旧木原家住宅(白市)



市重文 旧石井家住宅(下見)

事業の概要

(イ) ユニークベニユーの活用（うち 34 千円）

ユニークベニユーとして文化財の活用を図るため、利用希望者と文化財所有者の橋渡しを行う仕組みづくりを推進する。

【活動指標】 市所有文化財建造物の民間利用回数 2回

※ ユニークベニユーとは

歴史的建造物など、独特の雰囲気を持つ場所を会議・イベント等の会場として活用することにより特別感や地域特性を演出できる会場をいう。

【ユニークベニユーの事例】



旧木原家住宅での作品展示



酒造施設でのトークイベント
(史跡西条酒蔵群)

(ウ) オオサンショウウオの保護と活用（うち 1,240 千円）

国の特別天然記念物オオサンショウウオの希少な繁殖地として知られる豊栄町に設置したオオサンショウウオの宿を活用し、痩せ个体やケガをしたオオサンショウウオを保護するとともに、保護期間中は、貴重なオオサンショウウオを間近で観察できる機会を提供する。



特別天然記念物オオサンショウウオ

事業の概要

イ 文化財、文化財施設の維持管理（うち 24,449 千円）

(ア) 指定文化財等の環境整備（うち 3,372 千円）

市内に所在する指定等文化財を後世に伝えていくため、所有者と協力し維持管理を行う。

(イ) 文化財、文化財施設等の維持管理（うち 18,458 千円）

文化財及び文化財関連施設等の維持管理を行う。

対象施設	旧木原家住宅、旧石井家住宅、八本松歴史民俗資料館、三永歴史民俗資料館、安芸津歴史民俗資料館、オオサンショウウオの宿、豊栄町民俗資料室、河内町民俗資料室、免山第1・第2文化財倉庫、冠文化財倉庫、旧久芳小学校
------	--

(ウ) 指定文化財保全管理の支援（うち 2,669 千円）

指定文化財の保全や修理にあたって補助等を行う。

- ・国重文福成寺本堂内厨子及び須弥壇消防設備点検
- ・国重文福成寺本堂内厨子及び須弥壇消防設備修理事業
- ・国重文竹林寺本堂消防設備点検
- ・県重文竹林寺縁起絵巻保存修理事業
- ・史跡西条酒蔵群（旧広島県醸造試験場）保存修理事業

事業の概要

戦略	2 文化財の保護と活用	予算	310,123千円	前年度	113,080千円
事務事業	2-2 文化財施設等整備事業	予算	217,116千円	前年度	33,052千円

内容

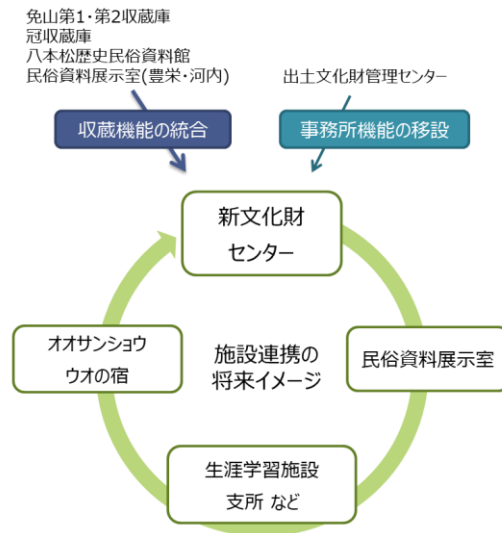
2-2_文化財施設等の整備

① 新文化財センター整備 (213,280千円 (前年度 28,598千円))

旧久芳小学校を改修し、作業室・収蔵施設等を備えた新文化財センターを整備する。



旧久芳小学校



② 文化財施設の修繕等 (2,530千円 (前年度 3,609千円))

旧木原家住宅や史跡三ツ城古墳等の市所有文化財関連施設の修繕等を実施する。

- 消防設備・公園設備等修繕
- 旧木原家住宅土塀修繕
- 三ツ城古墳円筒埴輪修繕
- オオサンショウウオの宿設備等修繕



史跡三ツ城古墳

③ 文化財説明板等の新設・修繕 (1,306千円 (前年度 845千円))


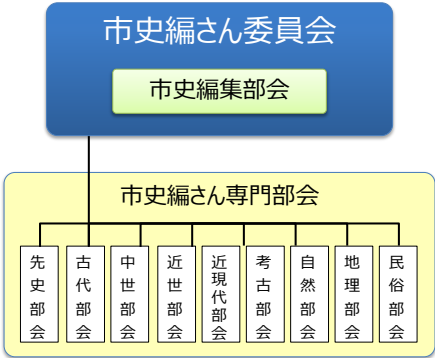
指定・登録文化財の説明板、案内標識の設置及び既設の説明板等の修繕を実施し、見学者等の利便性向上を図る。



生城山城跡説明板



手島山墳墓群説明板

業の概要				
戦略	2	文化財の保護と活用	予算 310,123 千円	前年度 113,080 千円
事務事業	2-3	東広島市史編さん事業	予算 19,061 千円	前年度 20,617 千円
内容				
2-3_東広島市史の編さん				
① 市史編さんに係る資料調査等 (15,365 千円 (前年度 17,204 千円))				
ア 資料の調査及び収集 (うち 14,980 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・市史編さんに必要な歴史資料の調査を実施する。 ・資料収集の情報提供を、市史だより等で周知する。 				
イ 研究及び広報普及 (うち 385 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・成果報告のための広報紙の作成及び配布 				
【活動指標】				
市史編さんだより発行 年 2 回				
				
資料調査風景				
② 市史編さん委員会等の開催 (2,244 千円 (前年度 2,300 千円))				
ア 市史編さん委員会の開催 (うち 206 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・編さん方針の審議 ・執筆要領等の作成、刊行計画等に係る審議 				
イ 市史編集部会の開催 (うち 248 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・刊行計画の審議 ・専門分野間の編集内容の調整 				
ウ 市史編さん専門部会の開催 (うち 1,790 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野ごとに執筆内容を審議 				
				
市史編さん事業組織図				
③ 市史の編集 (1,452 千円 (前年度 1,113 千円))				
ア 市史資料編・通史編の編集				
<p>令和 9 年度刊行予定の「考古資料編」「自然編」の執筆・編集作業を進めるとともに、その後順次刊行する「資料編」、「通史編」の基本体裁、本文レイアウト、執筆要領の策定を行う。</p>				

事業の概要						
戦略	2	文化財の保護と活用	予算	310,123千円	前年度	113,080千円
事務事業	2-4	埋蔵文化財調査事業	予算	10,714千円	前年度	10,608千円

内容

2-4_埋蔵文化財の調査

① 埋蔵文化財の調査 (10,714千円 (前年度10,608千円))

ア 埋蔵文化財の保存と調整 (うち4,539千円)

開発等によって、埋蔵文化財(遺跡)が破壊されることを防ぐため、事前にその取扱いについて調査及び指導・助言する。

- ・分布、試掘調査等…市内全域：随時
- ・開発と遺跡保護の調整…市内全域：随時

イ 埋蔵文化財の発掘調査 (うち6,175千円)

必要に応じて、記録保存のための発掘調査を行い、出土した遺物及び図面・写真等を整理・収蔵し、調査・研究する。

- ・緊急的発掘調査…市内全域：随時
- ・県や大学、民間による発掘調査の監理及び指導・助言…市内全域：随時
- ・出土品等の整理・収蔵、調査・研究：随時



遺跡の有無を確認する試掘調査



古墳の発掘調査

事業の概要				
戦略	2	文化財の保護と活用	予算 310,123 千円	前年度 113,080 千円
事務事業	2-5	出土文化財管理活用事業	予算 16,857 千円	前年度 16,494 千円
内容				
2-5_出土文化財の公開活用				
① 出土文化財の管理活用 (16,857 千円 (前年度 16,494 千円))				
埋蔵文化財 (遺跡) の存在の周知に努めるとともに、出土文化財 (土器や石器等) を適切に保存・収蔵・管理し、展示や講座等で市民向けに公開・活用を図る。				
ア 常設展示・速報展示 (うち 1,884 千円)				
市保管する出土文化財を展示・公開する。				
【活動指標】回数 2回				
イ 出土文化財企画展示 (うち 4,224 千円)				
市保管の出土文化財を特定のテーマのもと、調査研究の成果を出土文化財管理センターなどにおいて展示する。				
【活動指標】回数 1回				
ウ 出土文化財報告会、遺跡の現地見学会開催 (うち 1,991 千円)				
市内で発掘調査を実施した遺跡の成果を報告する。				
【活動指標】回数 報告会 1回				
現地見学会は適宜開催				
エ 講師派遣や各種講座、解説等への対応 (うち 943 千円)				
出前講座等への職員の講師派遣や企画展等で展示解説を行う。				
オ 出土文化財の情報発信 (うち 2,119 千円)				
広報誌等により、出土文化財の調査成果を発信する。				
【活動指標】広報誌「東ひろしまの遺跡」				
年 2冊発行				
カ 出土文化財の維持管理 (うち 5,696 千円)				
出土文化財の保存処理や出土文化財管理センターの維持管理を行う。				
キ 文化財学術専門業務の充実				
文化財学術専門職員による埋蔵文化財の発掘調査並びに普及活動の充実を図る。				



常設展示の見学



出土文化財報告会



広報誌・企画展図録

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	生涯学習の満足度	53.9%	53.8%	100%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成	主管部局・所属	生涯学習部 スポーツ振興課
関係部局・所属			

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	いつでも・どこでも・誰でも・地域でスポーツができる仕組みがあるまちになっています。	現状	スポーツに興味がある人は多いが、スポーツを習慣としている人の割合が低い。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
地域単位の健康づくり活動、スポーツの魅力づくり等によるスポーツ活動の習慣化が必要である。	スポーツ活動の普及振興	高	1	
様々なスポーツ活動に対応するため、スポーツ指導者の育成を図る必要がある。	スポーツの活動支援の充実	中	2	
市民ニーズに合ったスポーツ施設の整備が必要である。	スポーツ施設等の整備運営	低	3	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R7	R8	R9		
(7) 週に1日以上スポーツする人の割合	35.6 (H29)	55	60	65	70 (R10)	%
(4) コミュニティ健康運動パートナー・スポーツ推進委員の年間活動実績数	520 (R4)	655	700	750	800 (R10)	回
(7) スポーツ施設の利用者満足度	79 (R4)	84	86	88	90 (R10)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度		286,014				
		219,010				
R8年度		349,144				
		222,442				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	10・6・1 スポーツ活動活性化事業	スポーツ振興課	2.50	45,811	47,680
2-1	10・6・1 スポーツ活動支援事業	スポーツ振興課	1.50	12,929	12,736
3-1	10・6・2 スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	1.50	40,640	100,630
3-2	10・6・2 スポーツ施設管理運営事業	スポーツ振興課	1.50	186,634	188,098
合計			7.00	286,014	349,144

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無いか	
効率性	・コスト削減余地は無いか ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的要因	・外的な要因による影響は あったのか。	

10 総合評価

総合評価	< 総評 >

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成

事業の概要				
戦略	1 スポーツ活動の普及振興	予算	47,680 千円	前年度 45,811 千円
事務事業	1-1 スポーツ活動活性化事業	予算	47,680 千円	前年度 45,811 千円

内容

1-1_スポーツ活動の活性化

① スポーツ活動の充実（47,680 千円（前年度 45,811 千円））

ア スポーツ教室等の開催（うち 26,202 千円）

スポーツ教室等の開催、生きがい健康体育大学の運営やスポーツの振興に関する情報提供、用具の貸出業務等を教育文化振興事業団に委託する。

- ・開催期間：通年（4月～3月）
- ・教室数：20 イベント・教室
- ・場 所：東広島運動公園、黒瀬・安芸津B&G海洋センター等

【活動指標】

参加者数延べ7,000人



【ニュースポーツ教室】



【親子水泳教室】

イ 全市域を対象とするスポーツイベントの開催（うち 8,550 千円）

市民のスポーツ振興及び競技力の向上、また健康維持や世代間交流、地域の活性化を図ることを目的に各種スポーツイベントを開催する。

(ア) 市民スポーツ大会（陸上の部及び球技の部）（うち 5,153 千円）

- ・開催日：陸上の部 6月7日（日）・球技の部 9月27日（日）
- ・場 所：東広島運動公園、福富多目的グラウンド・福富小中学校グラウンド等

【活動指標】 小学校区参加率 95%



【陸上の部（総合開会式）】



【球技の部（ソフトバレーボール）】

事業の概要

(イ) 東ひろしま新春駅伝競走大会（うち 3,220 千円）

- ・開催日：令和9年1月9日（土）
- ・場 所：創建ホーム東広島スポーツパーク発着近隣周回コース



【新春駅伝競走大会】

(ウ) さわやかウォークの日（歩こうDAY）（うち 177 千円）

- ・開催日：10月18日（日）

※東広島市ウォーキング協会「東広島スマートウォーク」との共催



【さわやかウォークの日（歩こうDAY）】

ウ 全国規模の大会実施（ひろしま県央競歩大会の開催）（うち 1,189 千円）

オリンピックも出場するなど注目度もある本大会を継続して開催することで、広く東広島市をアピールするとともに、本市における競技スポーツの普及振興を図る。

- ・開催日：11月28日（日）
- ・場 所：創建ホーム東広島スポーツパーク



【ひろしま県央競歩大会】

事業の概要

エ 地域単位のスポーツ活動と指導者の育成（うち 4,864 千円）

スポーツ推進委員やコミュニティ健康運動パートナーを育成し、地域で活躍していただくことにより、地域単位のスポーツ活動の充実を図るとともに、小学校区を中心としたウォーキングコースを整備することで、地域でのウォーキングの普及促進を図る。

(ア) スポーツ推進委員の委嘱・育成（うち 3,491 千円）

各地域におけるスポーツの普及、実技指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、資質向上に向けた研修会を開催する。

・任期：令和8年4月～令和10年3月 ・委嘱人数：86人（予定）

・研修会：市主催研修会（4回）

呉賀茂地区、広島県、中国地区及び全国大会（6回）

・協力支援事業：市主催事業・県パラスポーツ協会事業

【活動指標】

各小学校区推進委員 2人以上



【スポーツ推進委員研修会（救急救命研修）】



【市民スポーツ大会(球技の部 ペタンク競技)】

(イ) コミュニティ健康運動パートナーの育成（うち 1,056 千円）

地域住民の健康を地域で支える仕組みづくりに向け、コミュニティ健康運動パートナーを育成するとともに、健康寿命の延伸に向けて高齢者が無理なく取り組むことができるスポーツの普及を支援する。

【活動指標】

生きがい健康体育大学修了者：50人

(ウ) 小学校区設置ウォーキングコース看板整備（うち 317 千円）

小学校区に設置した看板を整備（維持管理）し、ウォーキングマップを配布することで、地域単位のスポーツ活動の推進を図る。

【活動指標】

新設コース数 1コース



【小学校区ウォーキング看板】

事業の概要

オ トップアスリートの活用等によるスポーツの魅力づくり（うち 1,304 千円）

本市を活動拠点とし、地域に根差した活動を行っている企業やトップス広島に加盟しているスポーツ団体によるスポーツ教室等により、スポーツの魅力を伝えるとともに、スポーツ活動の活性化を図る。

(ア) トップアスリートのスポーツ教室

トップアスリートから直接指導を受け、交流することで、スポーツを始めるきっかけづくりや競技力の向上を図ることを目的とし、プロスポーツ団体等にスポーツ教室事業を委託する。

【活動指標】

スポーツ教室開催数 3 回



【ダイソー女子駅伝部による持久走教室】

カ 障がいのある人のスポーツの促進（うち 979 千円）

障がい者スポーツを実施する団体等と連携を図り、障がい者スポーツを体験し、交流できる機会を創出する。

(ア) パラスポーツ体験会（ギソクの図書館）の開催

義足ユーザーには競技用義足によるスポーツ活動の機会を提供し、健全者にはパラスポーツを体験する機会を提供することで、パラスポーツの普及促進を図るとともに、パラスポーツに対する理解を深める。




【活動指標】

パラスポーツ体験会（ギソクの図書館）開催数 2 回

【新】キ スポーツ推進計画の改定（うち 4,592 千円）

現在の「東広島市スポーツ推進計画」（H29～R8）について、令和7年度に実施した市民アンケート調査の結果や上位計画である国の「スポーツ基本計画」、本市第五次東広島市総合計画後期基本計画等を踏まえ、課題等を整理し、本市スポーツ施策の方向性や目標を定めながら現計画を改定する。

事業の概要				
戦略	2	スポーツの活動支援の充実	予算 12,736 千円	前年度 12,929 千円
事務事業	2-1	スポーツ活動支援事業	予算 12,736 千円	前年度 12,929 千円
内容				
2-1_スポーツ活動の支援充実				
① スポーツ団体の育成支援(7,287 千円(前年度 7,498 千円))				
ア 市内スポーツ団体に対する支援(うち 7,287 千円)				
様々なスポーツ活動へのニーズに対応するため、スポーツ指導者の育成支援を図る。				
(7) 東広島市スポーツ協会に団体運営補助金の交付				
・団体育成費：加盟競技団体等(24 団体)に対する事業費等				
・地域振興費：加盟地域団体(5 団体)に対する事業費等				
・スポ少事業費：スポーツ少年団単位団が実施する大会等事業費				
・事業費：主催事業(トップアスリート招聘、シニア向けスポーツ活動支援等)				
② 競技スポーツの振興(5,449 千円(前年度 5,431 千円))				
ア 全国大会出場者等に対する支援(うち 5,449 千円)				
(7) 出場奨励金				
全国大会又は国際大会に出場する個人又は団体に対して奨励金を交付し、支援することにより、競技力の向上を図ることを目的とする。				
a 全国大会				
交付金額(個人)：10,000 円				
交付金額(団体)：5 人まで 50,000 円				
6 人目以降 10,000 円×人数(上限 150,000 円)				
b 国際大会				
交付金額(個人)：20,000 円				
交付金額(団体)：5 人まで 100,000 円				
6 人目以降 20,000 円×人数(上限 300,000 円)				
※対象者は、市内に住所を有する者に限る。				
【活動指標】				
a 全国大会				
・個人：180 人 ・団体：30 団体				
b 国際大会				
・個人：5 人 ・団体：2 団体				

事業の概要						
戦略	3	スポーツ施設等の整備運営	予算	288,728 千円	前年度	227,274 千円
事務事業	3-1	スポーツ施設整備事業	予算	100,630 千円	前年度	40,640 千円
内容						
3-1_スポーツ施設等の整備運営						
①スポーツ施設の整備（100,630 千円（前年度 40,640 千円））						
ア 施設の整備（うち 99,300 千円）						
(7) 福富多目的グラウンド防球ネット整備（うち 35,100 千円）						
スポーツ施設の聖地化・特徴化に伴い、福富多目的グラウンドの山側に防球ネットを設置する。						
						
【防球ネットの設置予定場所】						
(4) 豊栄市民グラウンド防球フェンス等整備（うち 48,200 千円）						
豊栄市民グラウンドの老朽化した防球フェンス及びダッグアウトを更新するとともに、平成27年度に利用中止した屋外照明設備を撤去する						
						
【屋外照明設備】						
						
【老朽化した防球フェンス】						
(ウ) 西志和市民体育館合併浄化槽改修工事（うち 16,000 千円）						
西志和市民体育館について、浄化槽の改修工事を行う。						
イ スポーツ施設備品整備（うち 1,330 千円）						
スポーツ施設の利用の促進及び施設の管理のために備品を新たに購入する。						
・購入予定備品 芝刈機、ソフトバレーボールの支柱など						

事業の概要

戦略	3	スポーツ施設等の整備運営	予算	288,728千円	前年度	227,274千円
事務事業	3-2	スポーツ施設管理運営事業	予算	188,098千円	前年度	186,634千円

内容

3-2_スポーツ施設等の管理運営

① スポーツ施設管理運営(188,098千円(前年度186,634千円))

ア スポーツ施設の修繕等(うち11,276千円)

各スポーツ施設において、老朽化した設備等の修繕及び施設の維持管理を行う。

(7)設備修繕：河内市民グラウンド高圧気中開閉器修繕ほか8か所

イ スポーツ施設の管理運営(うち176,822千円)

33施設の維持管理を行う。

(7)指定管理による管理運営(うち160,083千円)

施設の配置が広範囲に及ぶことから利用者の利便性に配慮した管理を行うため、指定管理者制度を活用し効率的かつ地域事情に適した管理を行う。

【指定管理施設 23 か所】

(指)：指定管理施設

区分	名称	管理
体育館	西志和市民体育館	
	東志和市民体育館	
	豊栄市民体育館	
	河内スポーツアリーナ	(指)
プール	黒瀬屋内プール	(指)
	能良区民プール	
グラウンド	八本松市民グラウンド	(指)
	志和市民グラウンド	(指)
	黒瀬市民グラウンド	(指)
	黒瀬多目的グラウンド	(指)
	福富多目的グラウンド	(指)
	豊栄市民グラウンド	
	豊栄ふれあいグラウンド	
	河内市民グラウンド	(指)
	河戸区民グラウンド	
	入野区民グラウンド	(指)
	安芸津市民グラウンド	(指)

区分	名称	管理
コミュニティ スポーツ 広場	田口コミュニティスポーツ広場	(指)
	椋坂コミュニティスポーツ広場	(指)
	溝口コミュニティスポーツ広場	(指)
	造賀コミュニティスポーツ広場	(指)
	杵原上コミュニティスポーツ広場	(指)
	杵原下コミュニティスポーツ広場	(指)
	上戸野コミュニティスポーツ広場	(指)
	清武コミュニティスポーツ広場	(指)
河内発祥園コミュニティスポーツ広場	(指)	
テニスコート	豊栄テニスコート	
屋内球技場	豊栄屋内球技場	
キャンプ場	東広島市グリーンスポーツセンター	
海洋 センター	東広島市黒瀬B&G海洋センター	(指)
	東広島市安芸津B&G海洋センター	(指)
パーク ゴルフ場	東広島市福富パークゴルフ場	(指)
	東広島市河内パークゴルフ場	(指)

令和8年度 分野別基盤事業（予算）シート

まちづくり大綱

3 人づくり

内容

<こども未来部>

(1) 幼稚園の管理及び運営

(126,334千円(前年度103,234千円))【10款4項1目】

① 幼稚園の運営

幼稚園の運営に必要な人件費(教諭、保育補助員、保育運営サポーター等)、消耗品及び備品の購入等

【拡】ア 保育支援システム用タブレット端末の整備・管理(うち166千円)

② 幼稚園の管理

幼稚園の施設や設備を維持管理するための業務委託等

(2) 幼児教育の支援(11,312千円(前年度100,586千円))【10款4項1目】

利用料及び預かり保育料等の対象者への給付

【廃】私立幼稚園への助成(前年度278千円)

子ども・子育て支援制度未移行の私立幼稚園に対し、円滑な運営及び幼児教育の充実を図るための助成を実施していたが、全ての私立幼稚園が子ども・子育て支援制度に移行し、該当施設がないため廃止する。

<学校教育部>

(1) 姉妹都市との教育交流(1,496千円(前年度1,618千円))【10款1項3目】

北広島市子ども大使受入れ・派遣に係る経費

(2) 小学校の管理(858,238千円(前年度1,064,486千円))【10款2項1目】

① 小学校の運営

小学校に必要な消耗品、備品の購入等

② 小学校の管理

小学校の施設や設備を維持管理するための業務委託等

③ 仮設校舎リース等に係る経費

既設の仮設校舎リース料

(3) 小学校の教材整備(36,539千円(前年度36,539千円))【10款2項2目】

授業に必要な教材等の物品購入に係る経費

(4) 中学校の管理(498,508千円(前年度495,891千円))【10款3項1目】

① 中学校の運営

中学校に必要な消耗品、備品の購入等

② 中学校の管理

中学校の施設や設備を維持管理するための業務委託等

内容

- ③ 仮設校舎リース等に係る経費
既設の仮設校舎リース料
- (5) 中学校の教材整備 (26,502 千円 (前年度 26,502 千円)) 【10 款 3 項 2 目】
授業に必要な教材等の物品購入に係る経費
- (6) 学校体育施設の市民開放
(21,902 千円 (前年度 20,782 千円)) 【10 款 6 項 2 目】
市内公立の小学校及び中学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲内で、スポーツ・レクリエーション活動を行う市内在住者で構成された団体に開放する。
- (7) 学校給食の管理 (16,931 千円 (前年度 14,314 千円)) 【10 款 6 項 3 目】
- ① 給食従事者の健康診断及び学校給食センター内衛生管理検査の実施
(うち 3,803 千円)
【検査内容】 定期健康診断 (7～8 月)、腸内細菌検査 (毎月 2 回)、
ノロウイルス検査 (10～3 月に月 1 回)、
衛生管理検査 (年 2 回)
【健康診断対象給食従事者人数】 10 人
- ② 給食従事者への研修の実施 (うち 26 千円)
栄養教諭・学校栄養職員研修会
- ③ 各小中学校配膳室の物品等の管理 (うち 5,870 千円)
- ④ 学校給食費の公会計に係る諸経費 (うち 7,232 千円)
- ア 学校給食費管理システム保守管理
小・中学校の児童・生徒、教職員等の給食費決定通知書の印刷や送付、
システムの保守管理等
- (8) 学校給食センターの運営
(2,509,852 千円 (前年度 2,302,953 千円)) 【10 款 6 項 3 目】
- ① 東広島学校給食センターの運営
- ア 蒸気配管の老朽化に伴う更新 (うち 63,471 千円)
- ② 西条学校給食センターの運営
- ア 食器老朽化に伴う更新 (うち 14,319 千円)
耐用年数 5～6 年を大幅に経過した 15 年以上の使用により、表面のコーティングが剥がれ、汚れが落ちにくいなど衛生上の問題や、破損枚数も年々増加していることから購入する。
- ③ 東広島北部学校給食センターの運営
- ア 食器老朽化に伴う更新 (うち 14,226 千円)
耐用年数 5～6 年を大幅に経過した 15 年以上の使用により、表面のコーティングが剥がれ、汚れが落ちにくいなど衛生上の問題や、破損枚数も年々増加していることから購入する。

内容

④ 安芸津学校給食センターの運営

ア 厨房機器等の老朽化に伴う更新（うち 37,455 千円）

導入後 20 年が経過し、調達不能な修繕部材も出てきている中、年々不具合が生じてきている食器洗浄機等システムや同じく経年劣化が著しい配膳コンテナを更新する。

<生涯学習部>

(1) 二十歳のつどいの開催（7,322 千円（前年度 5,686 千円））【10 款 5 項 1 目】

二十歳を機会に仲間との絆を再認識することにより、東広島市への愛着を育成するため、「二十歳のつどい」を開催する。

【場 所】 運動公園体育館

【開催日】 令和 9 年 1 月 11 日（予定）

(2) 児童青少年センターの管理

（23,173 千円（前年度 26,258 千円））【10 款 5 項 1 目】

児童青少年が気軽に利用できる「心の居場所」を提供するため、児童青少年センターの管理・運営を行う。

① 児童青少年センターの管理

施設を維持管理するための業務委託等

② 児童青少年センターの運営

運営に必要な人件費、消耗品及び備品の購入